

# 地方稅法案特別委員會議事速記錄

第七十五回  
帝國議會貴族院

地方稅法案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十五年三月二十日(水曜日)午前十時

○委員長(子爵前田利定君) 是ヨリ會議ヲ  
開キマス、前回ニ引續キマシテ御質疑ノア  
ル方ニハ御質疑ヲドウゾ願ヒタイト思ヒマ  
ス

○男爵物平外興慶君　地方税法案ノ中元第  
五十條、船舶税ノコトニ付テ御尋ニ致シマ  
ス、此ノ問題ハ從來地方税トシテモアリマ  
シタノデアリマスガ、今度新タニ御設ケ  
シナツタノデズカ、之ヲ先ヅ第一ニ聽イテ置  
キタイ

ニアツタノデゴザイマスガ、今度ハ之ヲ分ケ  
マシテ、府縣ノ獨立稅トシマシテハ此ノ通  
リ船舶法ノ適用ノアル大型ノ船ヶケヲ課稅  
ハ客體トシマシテ、小サイ船ハ二十噸未満  
五噸以上ノ小船ハ市町村稅ノ方ニ委譲シタ  
ノデアリマス

○男爵初平外與齋君  
義モゴザイマセヌガ、寄港地ト云フ風ニ考  
ガ、此ノ條文ノ「二十噸以上ノ船舶ニ對シ  
マスガ、此ノ定繫場ト云フモノノ定義ヲ一  
ツ伺ヒタイ」  
○政府委員(挾間茂君) ハツキリトシタ定  
ヘテ居リマス

○男爵松平外與麿君 是デ非常ニ從來問題ニナゾ居ルサウデアリマスガ、例ヘバ今ノ定繫場ニ依リマスト、二十噸以上デアリマスカラ、數千噸ノ船モ此ノ船舶稅ノ課稅物

件ニナリマス譯アリマスガ、一番好イ例ハ神戸カラ若松ニ行キマス石炭ノ輸送船ガ寄港スルト、神戸ト若松ト兩方トモ所謂定繫場ト云フ問題ガ起リマシテ係争ニナリマシタガ結局マア示談デ濟シダト云フ話デスガ、ドウモ定繫場ト云フヨリモ寧ロ船籍港若シクハ船籍地ト云フコトニシタ方ガハッキリスルジヤナイカト云フ意味デ、若シカ出来得ベクンバ此ノ定繫場ト云フモノヲ取ラレマシテ、船籍港デアリマストカ、或ハ船籍地ト云フコトニ御直シニナツカ方ガ宜カッタノジヤナイカト思フノデアリマスガ如何デゴザイマセウカ

アル、斯ウ云フ風ニ看做ス規定ヲ二項ニ於テ設ケタノデゴザイマス、併シナガラ船籍港ノアル府縣ニ定繫場ノナイ場合モゴザイマスシ、色々喰違ヒガゴザイマス、又定繫場ニ付テノ爭モ殘ル場合ガゴザイマスノデ、第三項デ内務大臣ガ裁定ヲ致スヤウニ規定ヲ致シマシテ問題ノ解決ヲ圖ツタ次第デゴザイマス

將來ノ考究問題ト致シマシテハ斯ウ云フ大  
キナモノニ地域的ニ移動致シテ居ルト云フ  
モノニ付キマシテハ、或ハ特殊ノ分與稅等  
ニ組入レルコトガ適當デアルノデハナカラ  
ウカト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマ  
ス、將來改正ノ時機デモゴザイマスレバサ  
ウ云フ方向ニ於テモ研究ヲ進メテ見タイト  
存ジテ居ル次第アリマス

○男爵松平外與磨君 大體了解致シマシタ、  
其ノ次ニハ六十五條デス、「市町村民稅ノ賦

シタガ、初メニ承リマシタ通り主ナル定鑑  
場トバ寄港地ト云フ解釋ヲ致シマスレバ、  
船ガ決ツテ寄港スル所、例ヘバ神戸、長崎、  
此ノ頃ハ上海ニ行ク船ガアリマスガ、上海

課期日ハ十月一日トス「ト御決メニナツタノ  
デスガ、是ハ何デセウカ、十月一日ト云フ  
ノハ村民ノ在住スル状態状況其ノ他ガ最モ  
有利ダト云フ御考カラ賦課期日ヲ十月一日

ノ船ハ必ス神戸ナリ、長崎ナリ、若松ナリ、  
寄港ズル所トスレバ、矢張リ其ノ船カラ見  
レバ主タル寄港地ニ見エル、サウスレバ其  
ノ三ツノ所デ税金ヲ取シテモ構ハナイ、理窟  
カラ言ヘバサウ云フ風ニ解釋出来ルト思ヒ  
マス、一ツノ物件ニ對シテ三方カラ取ラレ

ルト云フエトハ餘りニヒドイノテ、御注意ノ通リ二項、三項ノ規定ト云フモノガアリマスガ、之ヲ載セラレルヨリ寧ロ船籍地トカ船籍港ト云フコトニ、初メカラ御決メニナツタ方ガ争ヒガ起ラナイ問題デハナイカト思ヒマスガ、今更之ヲドウスウスルコトモ出来マセヌデセウガ、一ツ内務當局デ十分ニ一ツ是ハ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマスト○政府委員(三好重夫君) 御詰ノ通り運用上十分氣ヲ付ケマシテ争ガ成ルベク起ラナ

レデ熱海トカ伊東ニ居ツテ十月一日迄ジット

○政府委員(挿間茂君) 是ハ前ノ六十四條ノ方デ決定致シマスガ、其ノ人ガ一戸ヲ構ヘテ居ルト云フ事實ヲ抑ヘルノデアリマシテ、國勢調査ノ如キ現在ト云フコトデハナインデアリマス、併シ今仰セニナリマシタ人ニ付テ考ヘマスト其ノ人ガ東京デ一戸ヲ構ヘテ居リマシテ、サウシテ熱海ニモ家屋敷ガアルトシマスト其ノ人ハ十月一日現在ニ於テ東京デ一戸ヲ構ヘテ居ルト云フコトニナリマスト熱海デモ十月一日現在ニ依ツテ町村民税ガ掛ルコトニナル譯デアリマス、其ノ日ノ現在ト云フコトヨリモ此ノ六十四條ノ納稅義務者ノ資格要件ノ方デ決定スルコトニ相成リマス

○男爵松平外與麿君 サウ致シマスト其ノ生活ノ本據ト云フカ、住所以外ニ別莊ヲ持ツテ居ル人ハ二箇所デ町村民税ガ掛ル、斯ウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(挿間茂君) 左様デゴザイマスサレテサウシテ都會ヘ都會ヘト集中スル傾向ガアリマス、殊ニ納稅關係ニ於キマシテ重稅ヲ課セラレルト云フヤウナコトカラ都會ヘ都會ヘト集中スルト云フ傾向ガゴザイマス、今回ノ此ノ稅制ノ改革ニ於テ離村シテ都會ニ集ルト云フヤウナ弊害ガ緩和サレル、サウ云フコトガナクナルヤウナ御見込ガ政府ニ於テアリマスカドウカ、其ノ點ニサレルノデセウカ、或ハ住所ノ東京デ賦課

○政府委員(挾間茂君) 只今仰セニナリマシタ問題ハ主トシテ戸數割ノ關係ガ主デアツト思ヒマス、田舎ニ居リマシテ相當ノ金持ニハウント戸數割ヲ掛ケルト云フヤウナコトニナシテ居リマスノデ、マア離村スルト云フヤウナ傾向ガアルヤウデアリマスガ、今回ハ戸數割ヲ全廢致シマシタノデ、左様ナコトハ將來起ラナイト考ヘマス、尙市町村民稅ハ極ク輕イ稅デゴザイマスノデ、戸數割ノ如キ弊害ハ起ラヌト考ヘマス。

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明デ大體了解致シマシタ、今回ノ稅制ノ改革ニ於テ市町村民稅トカ、或ハ獨立稅ト云フヤウナ自主的ノモノハゴザイマスケレドモ、一方ニ於テ分與稅殊ニ配布稅ガ中心ニナシテ居リマスカラ、得テ中央ニ依存スル風ガ非常ニ濃厚ダラウト思フノデアリマス、其ノ爲ニ地方ヨリ中央ニ向シテ陳情シタリ、或ハ所謂運動ガマシイコトガ非常ニ起リハシナイダラウカト云フ懸念ガナイモノデゴザイマセウカ、其ノ點ハドウ云フモノデゴザイマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 此ノ點ハ今回ノ改正ニ於テ最モ慎重ニ注意ヲ致シタノデアリマシテ、財源ノ關係ヲ申シマスト、配付稅ハ大體財源ノ總額ノ三割三分内外デアリマシテ、後ノ六割六七分ト云フモノハ地方團體ノ獨立財源ニナシテ居リマス、獨立稅ハ法定ノ課目又ハ市町村デハ許可ヲ受ケテ色々稅ヲ起スコトガ出來マスシ、ソレカラ三收益稅ハ課制ノ建前カラ申シマシテモ、十分ニ地方自

治ド云フコトヲ尊重致シテ居ルノデアリマス、又配付税ニ於キマシテハ、是ハ單ニ稅ヲ分與致シマス手續方法ニ於テ國ノ機關ノ決定ヲ經ルト云フダケノコトデアリマシテ、ハ毛頭持ッテ居ナイノデアリマス、殊ニアラ機トシマシテ、中央依存ノ風ヲ起スト云フコトハ出來ルグケ避ケナケレバナリマセヌノデ、分與稅ノ分與方法ニ付キマシテハ此ノ地方分與稅法ニ規定致シテ居リマスヤウニ詳細ナ規定ヲ法律ニ規定致シマシテ、尙他ノ技術的ノモノモ勅令省令等テハッキリ規定ヲ致シマシテ、其ノ働くニ依ッテ自然各團體ノ配布額ガ決定スルヤウニ致シテ居リマス、之ニ依ッテ中央官廳ノ自由裁量ト云フ力ガ餘リ強ク働くナイヤウニ、又地方ノ陳情ガアリマシテモ、ソレハ最早如何トモ此ノ規定ニ依ッテシ難イト云フヤウナコトニ致シマシテ、十分茲ニ中央依存ト云フヤウナ弊ブ生ゼシメナイヤウニ持ヘテ居ル考デアリマス

止出來ルト云フ御説デアリマスガ、然ル  
私ハ市町村民税ノ最高額ヲ一率ニズル事  
フコトニ致シマスレバ、矢張リ此ノ傾向へ  
防止出来ナイヂヤナシカ、斯ウ思ハレルソ  
デアリマス、何故ナレバ申上ガル迄モナクソ  
地方ノ町村ハ市町村民税ハ主ナル歳入デア  
ル、其ノ他ノ税外收入ト云フモノハ殆ドナ  
イ、之ニ反シテ都市ニ於テハ税外收入ハ財  
源ガ豊富ナノデアリマスルカラ從ツテ市町  
村民税ヲ賦課スル場合ニ於テ地方ノ十萬  
二十萬位ノ程度ノ人ガ最高額千圓ヲ賦課サ  
レル場合ニハ其ノ人ガ都市ニ出タ場合ニハ  
都市ノ貧富ノ懸隔ハ甚シイノデアリマスカラ  
、從ツテ都市ニ出マスト恐ラク五十圓トカ  
カ、百圓トカ、此ノ位ノ程度ニ止マルモノ  
デナカラウカト思フノデアリマスカラ、  
張リ都市ニ出タ方ガ負擔ガ非常ニ輕イカラ  
都市ニ集中スルト云フヤウナ傾向ハアルク  
デハナカラウカト思フノデアリマスカラ、  
此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

思フノデアリマス、市町村民税ニ於キマシテハ最高ガ千圓デアリマシテ、殊ニ其ノ團體デ微收シ得ル總額ト云フモノガ四圓、六圓、八圓平均ト云フ風ニ抑ヘラレテ居リマスカラ、多額ノ稅ヲ一人ニ負擔セシムルト云フコトハ實際問題トシテ可能デナクナツテ參ツテ居リマス、斯ウ云フ狀態デアリマスカラ、戸數割時代ニ起ツタヤウナ弊害ハ、市町村民税ニ於テハ起リ得ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ市町村民稅課ノ制限ハ最高額ヲ嚴重ニ抑ヘルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、恐ラク戸數割時代ニ於ケル弊害ノ如キハ今度ノ市町村民税ニ付テハ絶對ニ發生シナイモノデアラウト考ヘテ居リマス

○柴田兵一郎君 併シナガラ實際ノ市町村

ノ實情ニ於テハ矢張リドウシテモ最高額千

圓ト抑ヘラレマスト、其ノ町村ノ市町村民

稅ヲ賦課スル場合ニ於テ矢張リ其ノ町村ノ

一流ノ資力ノアル人ニ對シテハ其ノ最高額千

ヲ賦課スルヤウナ傾向ガ私ハアルト認メラ

レルノデアリマス、従ツテ其ノ人ガ都市ニ出

マスト云フト、殆ド問題ニチラナイ場合ガ

ヨクアルノデアリマスガ、從ツテ市町村民税

ノ最高額ニ、差ヲ付ケルト云フコトハ適當

○政府委員(挾間茂君) 市町村民税ノ最高

額ニ差等ヲ付ケルコトニ付キマシテハ衆議院

デ斯様ナ修正ガゴザイマシテ、政府トジテハ、先日内務大臣ヨリ申述べラレマシタ

通リデアリマス、最高額ヲ上下スルト否ト

ニ拘ラズ、私ハ今度ノ市町村民税ト云フモ

ノバ、稅額ハ非常ニ少額デアリマスカラ、

其ノ爲ニ都市移動ノ風ラ金持ニ尙存續セシ

メルト云フヤウナコトハ起ラナイト考ヘテ點デアリマシテ、地方ノ施設ガ増進致シマス

ト、土地家屋ノ賃貸價格等モ自然ニ增加ヲマシタ趣旨デ御了承ヲ願ヒタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 私ハ今度ノ稅制ガ非常ニ各團體ノ間ニ調節ヲスル意味ニ於テ大變良ク出来テ居ルト思ヒマスガ、矢張リ團體内ノ負擔ノ關係カラ今ノ配當所得ト、勤勞所得ヲ地方稅ニ最初カラ除イデ居ラレル點ガチ

ヨグト不公正ニナリヤシナカト見テ居ルノデアリマス、ソレガ衆議院ノ應答ノ間ニモ見ラレマシタケレドモ、ドウモハッキリ了解出来マセヌガ、其ノ理論的根據ト、モ

ウツハ國稅地方稅ヲ通じテ負擔ノ均衡ヲ得ルヤウニト云フ御答辯ニナツテ居ラレルノデアリマスガ、例ヘバ地方團體ニ於キマシテ二千圓位ノ所得者ガアツタシテ、ソレガ臨時ノ所得デアル場合、營業所得デアル場合、配當所得デアル場合、勤勞所得デアルト云フヤウナ場合ニ、國稅地方稅ヲ通じテノ負擔額ガドウ云フ風ニナリマスカラ

ノデアリマスガ、例ヘバ地方團體ニ於キマシテニ非常ニ偏在致シテ居リマシテ、概ネハ大都市方面ニ多ク、農山漁村方面ニハ極メ

ト、其處ニ非常ニ富豪ガ住ンデ居ラレマス關係上、其ノ村デハ所得稅附加稅ト云フモノガ非常ニ上ルノデアリマシテ、而

モ一面ニ於キマシテ貧弱ナ農村方面ニ於キマシテハサウ云フ稅ハ殆ド得ラレナイ、

斯ウ云フコトカラ申シマスト、稅源ノ配布カラ見マシテ所得稅附加稅ト云フモノハ、

所ガ私共モ相當理由ノアルコトデアルト考ヘテ居リマス、唯配當所得、或ハ勤勞所得者等ガ地方團體負擔ヲ土地家屋營業等ノ關係ト違ヒマシテ輕キ負擔ヲスルコトニナツテ

居リマスル點ニ付キマシテハ稅ノ性質カラ考ヘテ見マシテ當初申上ゲマシタ通り、地

方團體ノ施設ト地方稅ト云フモノヲ成ルベ

ク密接ナ關聯ヲ持タセタイト云フノガ第一

スカ、或ハ綜合所得稅ノ附加稅ヲ認メマスカ、其ノ他特別ノ地方稅ヲ設ケルカト云フコトニナルノデアリマスカ、御存ジノ通り

ナリマスノデ、之ニ對シテ地方稅ヲ附加スル

シマスシ、營業ニ付テモ利益ヲ自然得ルノ

デアリマスノデ、互ニ物稅ガ地方施設ト開

シテハ配當利子所得、或ハ勤勞所得ト云フヤ

ウナ地方團體ノ施設トハ必シモ密接ナ關係

ガゴザイマセヌノデ、土地家屋營業等ニ對

スル課稅ト、勤勞所得等ニ對スル課稅トハ、

地方稅ト致シマシテハ餘程ソコニ考ヘ方ヲ

シテニシテ見ナケレバナラナイカト思フノデ

アリマス、次ニ地方ノ財源ノ分賦ノ點カラ考ヘマシテ、配當所得等ニ付キマシテハ、

別ニシテ見ナケレバナラナイカト思フノデ

アリマス、次ニ地方稅ヲ附加シマスルコトガ非常ニ合

考ヘマシテ、配當所得等ニ付キマシテハ、

ノハ配當ノ利子所得、俸給所得等ハ地域的

ニ非常ニ偏在致シテ居リマシテ、概ネハスルト云フコトハ是亦非常ニ困難ナ問題デ

得稅ハ所得ヲ全部綜合致シテ居リマスノデ

ルコトニ致シマス、然ラバ全部ノ綜合所得ニ對シテ

之ヲ課稅スルト云フコトハ、附加稅ヲ課スルコトニ致シマス、御存ジノヤウニ綜合所

得稅ハ所得ヲ全部綜合致シテ居リマスノデ

アリマス、然ラバ全部ノ綜合所得ニ對シテ

之ヲ課稅スルト云フコトニナツテ、事業所得、或ハ土

地ノ所得等ニ對シマシテ更ニ附加稅ガ重課

セラレルト云フコトニナツテ参リマスノデ、

是亦斯様ナ制度ハ負擔重課ト云フコトニナツ

課稅スルト致シマスト、事業所得、或ハ土

地ノ所得等ニ對シマシテ更ニ附加稅ガ重課

セラレルト云フコトニナツテ参リマスノデ、

是亦斯様ナ制度ハ負擔重課ト云フコトニナツ

課稅スルト致シマシテモ只今申シマシタヤウ

ナ所得ヲ結局課稅標準ニ用ヒルコトニナリ

マスノデ、同ジ弊害ヲ繰返シ、又技術上ノ

困難ヲ伴フト云フコトニナツテ参リマシテ、

ドウモ技術上ノ問題トシテモ所得稅附加稅

ハ地方稅トシテ困難デアルト云フ風ニ考ヘ

テ居ルノデアリマス、ソレカズ一面ニ於ギ

マンテ此ノ所得ニ付キマシテハ國稅ニ於テ

相當增徵セラレルコトニナツテ居リマシテ、

更ニ附加稅ヲ認メルコトハ一般的ノ問題ト

シテ負擔重課ニナル虞ガアリマス、斯ウ云

フヤウナ色々ノ理由カラ致シマシテ附加稅

主義ハ之ヲ廢メマシテ、今度ノ改正ニ依リ

マシテ所得税ハ主ニ配付税ノ財源ト致シマシテ、之ヲ調整財源トシテ、地方税ニ此ノ意味ニ於ケル人税的ノ分子ヲ採入レルト云フコトニ致シタ次第アリマス、尙一定額ノ所得ニ付キマシテハ國税、地方税ヲ通ジテドノヤウナ負擔關係ニナルカ、各所得ニ付テノ負擔關係ハ後程調査致シマシテ御覽戴クヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 徵税ノ技術ノ上カラナカナカ困難ダト云フ御説明デアリマスガ、元來戸數割ノ所得標準ヲ立テマスコトガ市町村デハ戸數割ノ標準ヲ以テ矢張リ今迄ヤッテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ茲ニ普遍的ナ地方團體ノ財源ト致シマシテハ御話ノ如ク偏在ニシテ居ルカラ、餘り有力者得ト云フモノガ新シイ形式ノ財源デアリマスカラ、是カラ追々殖エテ行ク可能性モアリマガ、各團體内ノ均衡ヲ考ヘマス時ニ配當所得ト云フ點ハアルト思ヒマス

ス、ソレカラ一面ニ勤勞所得ハ細カイ労働者モ含ンデ居リマスガ、農村ナドニ入りマスルト、農村ノ指導階級ガ勤勞所得ヲ大分持テ居リマス、サウ致シマスト、新シイ形式ノ資産ヲ持テ居ル階級或ハ指導階級ニ屬スル知識階級ト云フヤウナモノノ所得ガ此ノ地方税ノ分任ノ上カラシテ遠ザカッテ居ルト云フコトハ、自治體ノ經營上面白クナイ影響ガアリ得ルダラウト思ヒマス、デアリマスカラ、此ノ狭い區域内ニ於テ或標準ニ依ツテ調査ガ届ク場合ニ、許可ヲ得ル税目トシテ御願ヒシタ場合ニハ許可シ得ル餘地ガアルノデアリマスカ、或ハ配當所得ノ如キハ第六條ノ精神カラ許可ヲ受ケテ新稅目ヲ立テルコトガ出來ナイト云フヤウナ御意ニナルノデアリマスカ、其ノ邊ヲナヨッ

ト御ヒシテ見タイト思ヒマス

○政府委員(秋間茂君) 現在ノ戸數割ニ付テノ御話デアリマスガ、私共モ小區域内ニトデアルト考ヘテ居リマスノデ、其ノ意味

合ニ於キマシテモ市町村民稅ヲ設ケマシテ、市町村民稅ノ課稅標準ノ決定ニ於テ人税的ノ色彩ヲ十分盛ルコトヲ考慮致シテ居ルノデアリマス、併シシテ更ニ別個ノ所得稅的ノモ

ノヲ市町村ノ獨立稅トシテ起スト云フコトノ可否ニ付キマシテハ、先程色々申述ベマシタヤウナ理由デ、斯様ナ所得稅的ノ地方

稅ハ許可致サナイ方針デアリマス、昨日モ申シマシタガ、現在ゴザイマス市町村特別

稅ノ中、所得稅又ハ戸數割ト類似ノモノニ付キマシテハ、將來はハ認メナイ方針デ進シテ参リタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 サウシマスト、此ノ市町村民稅ノ課稅ヲ致シマスル時ニ、其ノ程度ノ均衡ヲ取ルヤウナ斟酌ヲ加ヘルコトハ、市町村ニ任サレテ居ルノデゴザイマスカ

シタ原則ノ範圍内ニ於キマシテハ、市町村ノ自治ヲ尊重シマシテ、ソコニ裁量ノ範圍ヲ残シタイト思ヒマス、從ツテ土地所得或ハ營業家屋等ノ所得ガアル者下、全然ナイ者トノ間ニ於キマシテノ負擔ノ釣合ト云フヤウナコトニ付キマシテ、市町村ガ考慮シ、斟酌スル餘地ヲ十分與ヘタイト考ヘテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 大體御説明デ了承致シマシタガ、先程御願ヒ致シマシタ計數ヲ拜見シタナラバ、相當負擔ノ上デハ不均衡ナモノガ出テ來ルダラウト私ハ想像致シテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 徵税ノ技術ノ上デハ不均衡ナモノガ出テ來ルダラウト私ハ想像致シテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 徵税ノ技術ノ上デハ不均衡ナモノガ出テ來ルダラウト私ハ想像致シテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 徵税ノ技術ノ上デハ不均衡ナモノガ出テ來ルダラウト私ハ想像致シテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 徵税ノ技術ノ上デハ不均衡ナモノガ出テ來ルダラウト私ハ想像致シテ居リマス

ス、殊ニ地方稅ノ彈力性ノ大部分ヲ三收益

スコトニ致シタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 サウシマスト、市町村民稅ヲ賦課スル標準ニ付キマシテハ、御當局ノ方ニ何カ大凡斯ンナ目標ニ依ツテト云フヤウナ御案ガ御有リニナルデセウカ

○政府委員(秋間茂君) 其ノ點ニ付キマシテ、課稅ノ方法ニ付キマシテ、課稅ノ標準トシテ居リマス、即チ納稅義務者、賦課期日、賦課ノ制限ト云フコトダケヲ規定致シテ居リマシテ、課稅ノ方法ニ付キマシテ

ヲ致シテ居リマス、ハ理由ノアルコトデアルト考ヘテ居リマスノデ、其ノ意味

合ニ於キマシテモ市町村民稅ヲ設ケマシテ、市町村民稅ノ課稅標準ノ決定ニ於テ人税的ノ色彩ヲ十分盛ルコトヲ考慮致シテ居ルノデアリマス、併シシテ更ニ別個ノ所得稅的ノモ

ノヲ市町村ノ獨立稅トシテ起スト云フコトノ可否ニ付キマシテハ、先程色々申述ベマシタヤウナ理由デ、斯様ナ所得稅的ノ地方

稅ハ許可致サナイ方針デアリマス、昨日モ申シマシタガ、現在ゴザイマス市町村特別

稅ノ中、所得稅又ハ戸數割ト類似ノモノニ付キマシテハ、將來はハ認メナイ方針デ進シテ参リタイト思ツテ居リマス

○塩田園平君 サウシマスト、此ノ市町村民稅ノ課稅ヲ致シマスル時ニ、其ノ程度ノ均衡ヲ取ルヤウナ斟酌ヲ加ヘルコトハ、市町村ニ任サレテ居ルノデゴザイマスカ

シテ居リマシテ、課稅ノ標準トシテ居リマスノハ、賦課方法トシマシテハ、例

ハ所得額ヲ以テ等級ヲ設ケテ賦課スルト云

ヘバ所得額ヲ標準ト致シマス場合、ソレニ付ギマシテモ所得額デ賦課率ヲ設ケル、或

ハ所得額ヲ以テ等級ヲ設ケテ賦課スルト云

從ツテ地方稅ノ分擔カラ除ケラレテ居ル勤勞所得ト配當所得トヲ地方財源ノ一つトシテ将來何等カ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス

○堀切善次郎君 此ノ度ノ改正案ハ大體ニシテ居リマシテ、課稅ノ標準トシテ居リマス、ハ理由ノアルコトデアルト考ヘテ居リマスノデ、其ノ意味

合ニ於テ非常ニ各地方團體ノ間ニ具合好ク行クシテ居リマシテ、課稅ノ標準トシテ居リマスノハ、大都市或ハ大都市ヲ含ム府縣ノ對シテ非常ニ不利益ガ來ハシナイカト云

シテ居リマシテ、課稅ノ標準トシテ居リマスノハ、賦課方法トシマシテハ、例

ハ所得額ヲ以テ等級ヲ設ケテ賦課スルト云

ヘバ所得額ヲ標準ト致シマス場合、ソレニ付ギマシテモ所得額デ賦課率ヲ設ケル、或

ハ所得額ヲ以テ等級ヲ設ケテ賦課スルト云

稅收入額ハ改正前ノ總額ガ六千九百萬圓ト  
出テ居リマスガ、東京市ノ豫算ヲ見マスト  
十四年度ニ於キマシテハ稅收入ガ七千五百  
六十九萬圓トナツテ居リマス、更ニ十五年度  
ノ豫算デハソレガ七千九百六十萬圓ト云フ  
コトニナツテ居リマスガ、此ノ十五年度ノ七  
千九百六十萬圓ト云フ豫算モ實際ニ於テハ  
是以上ニ相當ノ自然增收ガアリ、徵稅額ハ遙  
カニ是ヨリモ多イト思ブノデアリマス、サ  
ウ云フヤウナ一二年ノ間ニ急激ナ増加ガアッ  
テ、サウシテ而モ此ノ増加ニ伴ッテ是等ノ  
大キナ都市等ニ於キマシテハ、從ツテ又其ノ  
施設スペキ事項ガ最近ニ非常ニ殖エテ居リ  
マスカラ、ソレニ依ツテ既ニ支出シテ居ルコ  
トト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ニ此  
ノ十三年度ト較ベマスト増スト云フヤウナ  
數字ガ出マシテモ、十四年度ト比較ヲスル  
ト云フヤウナコトニナリマスレバ、或ハ又  
最近ノ數字ニ依ツテ之ヲ比較シマシタナラ  
バ、非常ナ矢張リ減額ニナルコトハ争ハレ  
ナイコトダラウト思ヒマス、デ而モ一方ニ  
都市ニ於キマシテハ戸數割ヲ課シテ居リマ  
セヌ、從ツテ市民稅ヲ課ズル場合ニハ市民稅  
ヲ課シタダケノモノガ實質ニ於テ其ノ國民  
ナリ、市民ノ增稅ニナル譯デアリマス、東  
京ヲ例ニ取ツテ考ヘテ見マシテモ改正後ノ  
七千四百萬圓ト云フ御見込ノ數字ノ中ニヘ  
恐ラク市民稅ガ一人當リ八圓ノ平均デ出テ  
居ルノダラウト思ヒマスガ、之ニ依リマジ

純粹ノ市民ノ増稅ニナル譯デス、ソレヲ加ヘテ尙七千四百萬圓デ、十三年度ノ實績ニ較ベマスレバ増加シテ居リマスガ、十四年ナリ最近ノ情勢ニ比較致シマスト、矢張リ可ナリノ窮屈ナ狀態ニナルノデハナカラウカト云フコトヲ心配致シマスガ、是等ニ付キマシテノ御見込ハ如何デアリマセウカ、尙此ノ舊稅額ト新シク收入サレル新稅額、改正後ノ稅收入ノ見込額トノ差ガ著シイ場合ニ於テハ之ヲ調整スル規定ガ此ノ分與稅ノ附則ノ中ニアリマスガ、此ノ附則ノ中ニ於テ調整サレルノハ、矢張リ舊稅額ヲ十三年度カラ十四年度、十五年度ト云フヤウナ最近ニ非常ナ激變ノアル地方ニ對シテハ何等此ノ調整サレル途ガナイヤウニ見エルノデアリマスガ、ソニヨ非常ナル無理ガアリハシナイカト懸念致シマスガ、御見込ハ如何デゴザイマセウカ、内務省ノ地方局長ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

モノガ、生産力擴充トノ關係等ニ依リマシテ、非常ニ大都市ニ對シテ豊富ナ起源ヲ與ヘルコトニナシテ居ルト云フコトハ全ク仰セノ通リデアリマス、此ノ中營業稅ニ付キモ全部合セテ地方ニ委讓スルコトニ相成ッテ居リマスノデ其ノ意味ニ於キマシテハ大都市等ハ餘程ノ營業稅ニ依ル伸張力ヲ増シテ參リマシタコトト思フノデアリマス、所得稅附加稅ハ之ヲ廢メテ居リマス、是ガ相當大キナ大都市ノ財源ニナシテ居ルコトハ間違ナインデアリマスガ、併シ例へバ東京市ニ付テ見マスト、是ハ他ノ都市モ大體似寄ッタモノデアリマスガ、所得稅附加稅ハ非常ニ高率ナ賦課ヲ致シテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ財政上ノ餘力ヲ生ジマシタ場合ニハ相當ノ減稅ヲ致サナケレバナラナイ形ニナシテ居ルト思フノデアリマス、例へバ東京市ニ付テ考ヘマスト、現在所得稅附加稅ハ本稅一圓ニ付テ七錢ガ制限率ニナシテ居ルノデアリマスガ、只今ノ所二十一錢ノ課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、之ヲ全國平均カラ見マシテモ府ノ稅ハ安いノデアリマスガ、ソレト較ベマシテモ全國平均ヨリ更ニ三錢ヲ超過致シテ居ルト云フ狀況デアリマス、デ七錢ノ制限ヲ二十一錢迄取ルト云フ狀態ヲ其ノ儘ニ繼續致シマスト所得稅トシマシテモ相當財政收入ガ多クナシテ居リマスガ、是ハ見方ニ依リマシテハ斯様ナ生産擴充ノ結果、非常ニ財源ガ豊富ニナシタト云フ場合ニハ他日財政經理ニ困難ヲ生ジタ場合ハ別トシマシテ、少クトモ現在ノ狀態ニテハ減稅ヲスルト云フ方向ニ進ンデ參ル方ガ適當デハナイカ、サウシマスト、將來此ノ狀態ガ繼續シマスレバ所得稅附加稅ニ

於キマシテハ何錢カノ減稅ヲスル、假ニ一  
錢ノ減稅ヲ致スニシマシテモ八九十萬圓ノ  
減稅ニナルノデアリマスカラ、之ヲ全國平  
均ニ近付ケルト致シマシテ考ヘマシテモ、  
數百萬圓ヲ東京市トシテハ現行制度ノ下ニ  
於テハ減稅スル方ガ實際ニ合フノデハナイ  
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスノデ、稅額トシ  
マシテハ相當上ツテ居リマスガ、一面ニ於テ  
是ハ課稅力ヲ極度ニ用ヒテ居ルト云フコト  
デアリマスノデ、昨日差上ゲマシタ表ノ假  
ニ制限率ノ範圍内ニ於テ大都市ガ課稅ヲス  
ルト致シテ考ヘマスト云フト、東京市ニ付  
テ見マスト、現行稅制デ見マスレバ四十七  
百萬圓ノ稅收入ヲ擧ゲルト云フコトニナッテ  
居リマス、之ヲ標準トシテ考ヘマスト、今  
回ノ稅制ニ於テハ餘程ノ財政上ノ收入ヲ得  
ルト云フ形ニナルト考ヘルノデアリマス、  
斯ウ云フ見方カラ致シマシテ現行稅制ヲ其  
ノ儘ニ用ヒマスト、ドウシテモ生產擴充等  
ノ關係ニ於キマシテ減稅ヲ致ス、減稅ヲス  
レバ此ノ表ヨリモ更ニ減額シタ稅收入ニナ  
ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレ  
カラ御手許ニ差上ゲマシタ大都市ノ稅收入  
見込額ハ、是ハ教昌給ノ負擔ヲ控除シテ考  
ヘテ居リマスノデ、七千四百萬圓ト云フ稅  
收入ト比較致シマスト、最後ニゴザイマス  
八十一萬圓ト云フ年々ノ增加額ハ少クトモ  
是ハ餘分ノ財源トシテ與ヘラレテ居ルモノ  
デアルト云フ風ニ御考ヘ戴イテモ差支ハナ  
イノデハナイカト思フノデアリマス、從ヒマ  
シテ東京市等ニ付キマシテモ今回ノ稅制改  
正ニ依リマシテ相當ノ餘力、彈力性ヲ持ツ  
コトガ出來ルヤウニ私共考ヘテ居ルノデゴ  
ザイマス、ソレカラ分與稅ノ經過的措置ノ  
問題デアツカト存ジマスガ、是ハ今回ノ改

正ニ依リマシテ非常ニ稅收入が増加致シマ  
モノニ付テハ其ノ増加ガ一定限度以上ニ  
ナリマシタ場合ニハ、暫定的ニ制限ヲスル  
ト云フノデアリマシテ、其ノ作用ハ寧ロ從  
來財政貧弱デアリマシテ、非常ニ今度ノ稅  
額が多クナルト云フヤウナモノニ對シテ、  
急激ナル増加ヲセシメナイト云フコトニ相  
成ル譯デアルト思フノデアリマス  
○ 堀切善次郎君 内務省ノ御考ヲ伺ヒマシ  
タガ今ノ所得稅ノ附加稅ヲ東京市ノ例ニ付  
キマシテ、二十一錢ガ非常ニ高イカラ、減  
稅サセルノガ至當ダト云フ御考ニ付キマシ  
テバ、遺憾ナガラ意見ヲ異ニスル譯デアリ  
マスガ、ソレハ詳シク申上ガル必要モアリ  
マセヌ、府ノ附加稅ノ方ガ割合安クナッテ  
居リマシテ、市ノ方ダケ高クナッテ居リマシ  
テモ、附加稅ノ稅額トシテハサウ高クハナ  
テ居ナイ譯デアリマシテ、斯ウ云フ數字ヲ  
根據ニシテ、從來色々ノ施設モ既ニサレテ  
居ル譯デアリマスカラ、之ヲ急ニ減稅サセ  
ルコトヲ考ヘテ計算スルト云フコトハ、少  
シドウデアラウカト考ヘル譯デアリマス、  
是ハ古イ時代ニ、此ノ改正ニ付テ私自身、  
直接關係シタヤウナコトモアリマスノデ、  
其ノ率ハ是ハ決シテ高イ課率デハナイト云  
フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙次ニ  
御伺ヒシタイト思ヒマスノハ、東京市ノ例  
ニ致シマスト、東京市ニ於ケル家屋稅ガ現  
在府稅ト市稅トヲ合セマスルト、約二千三  
百萬圓ニナツテ居ルノガ之ガ國稅ニナツテ  
屋稅ヲ掛ケラレルコトニナルト國稅府稅市  
稅ノ合計額ハ三千五百二十二萬圓トナル  
サウダ、非常ナ急激ナ負擔ノ増加ニナルト  
云フコトヲ心配シテ居ル者ガアルヤウデア  
リマスガ、是ハ何カ斯ウ云フ風ナ根據ガア

ル譯ナノデアリマヤウカ、或ハ單純ナ想像ニ過ギナイ譯デアリマヤウカ、現在府稅市稅合計二千三百萬圓ガ、昭和十七年度ニナルノダト云フコトヲ言ツテ居ル者モアルノデスガ、如何デゴザイマヤウカ  
○政府委員(挿間茂君) 全體トシテ見マスルト、平均デアリマスレバ、家屋ニ對スル負擔ハ市町村全部ニ付テ見マスルト、百分ノ一・三三ノ減ニナッテ居リマス、併シ是ハ市町村全部ノ平均デアリマスカラ、各地方ニ於テ適用致シマスルト、果シテ斯ウ云F形ガ現レルカドウカト云Fコトハ御請合申上ラゲ兼ネルノデアリマス、全體トシテハ減稅ニナル譯デアリマスガ、今御述ニナリマシタ、特ニ東京府ニ於ケル家屋稅ノ比率ノ新舊比較ニ付キマシテハ、後程計數ヲ調ベマシテ御答ヘ申上ゲタイト存ジマスガ、唯質貸價格ニ付キマシテモ、現在ハ全國デ約十八億圓ニナッテ居リマスガ、今度補正ヲシテ、更ニ又國稅トシテ質貸價格ヲ國デ決定致シマスル際ニ、之ヲ十五億程度ニ壓縮スル方針デ補正及調査ヲスルコトニナッテ居リマス、色々ナ觀點カラシマシテ、稅額ハ減ツテ參ルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、東京府ダケノ調べハ後程取調べマシテ御答ヘ致シマス

ハシナイカト云フコトヲ心配スル譯アリマスガ、尙是等ト關係致シマシテ衆議院ノ方デ意見ガアリマシテ、大臣ノ御説明モアリマシタガ、三部制ノ問題ニ付テハドウ云フ風ニナルノデセウカ、是ハ三部制ニ關スルノル規定ハ此ノ度ノ稅法ノ中ニハ直接ニハ現レテ居ナイヤウデアリマシテ、自然矢張リ府縣ニ對スル分與稅法ノ分配ニ關係スルノデアリマセウカ、之ヲ三部制ニ關スルコトハ何トモ此ノ規定ノ法文ノ表面ニハ現レテ居リマヌガ、是ガ色々論議ニナリマスノハド云ウフ法文ノ關係デ斯ウ云フコトニカルノデアリマセウカ、又其ノ三部制ヲ止メルトカ當分存續スルト云フヤウナコトニ付キマシテノ、愛知縣ト兵庫縣ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

申シマシテモ適當ナイト恩ヒマス、更ニ此ノ分與稅ヲ分與致シマス方法ニ付キマシテ、一ツノ縣ガ經濟團體トシテ別ノモノニナシテ居リマスト云フコトハ、此ノ分與ノ技術的ノ觀點カラ見マシテ、非常ニ不合理的、ナ結果ヲ生ズルコトニナルノデアリマス、斯ウ云フノデ今回ノ稅制改正ノ機會ニ於キタノデアリマスガ、併シ衆議院デモ大變此ノ點ハ議論セラレマシタノハ、之ニ對シテ猶豫期間ヲ置クト云フ問題ト、ソレカラ市部債、郡部債ノ「バランス」ヲ執ル措置ヲ講ズルト云フニ點デアリマシテ、猶豫期間ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ、從來三部制ヲ廢止致シマス當時ノ事情ト、今回ノ事情トガ只今申シマスヤウニ條件ガ非常ニ違ッテ居リマスノデ、其ノ意味ニ於テ猶豫ト云フコトハ出來難イト思ヒマスシ、ソレカラ從來致シマシテ猶豫ノ問題ハ市部、郡部ノ課率ノ接近ヲセシタルト云フ點デアリマシタガ、今回ノ改正ノ結果課率ハ一定致シテ居リマスノデ、此ノ點ニ關スル限り數年間ノ準備期間ヲ置ク必要ガナクナッテ參リマシタト云フヤウナコトカラ、十五年度カラ即時之ヲ施行スルコトニ致シマシテ、市部債、郡部債ノ負擔ノ「バランス」ヲ執ルト云フ點ニ付キマシテハ、適當ナ善後措置ヲ講ジマスヤウニ、只今關係府縣知事ノ下ニ於キマシテ考究シ案ヲ立テテ居ルノデゴザイマス

エルヤウデスガ、調整スルノハ結局此ノ分  
與稅ノ配付ニ依ル譯ニアリマセウカ、大體  
其ノ具體的ニ斯ウ＼ト云フコトニアリマ  
セヌデ、大體ノ考ヘ方ヲ御知セ願ヘレバ好  
都合デアリマス

○堀切善次郎君　只今ノ問題ハ能ク分リマス  
シタ、尙別ノ問題ヲ伺ヒタイト思ヒマスノ  
ハ、此ノ小學校教員ノ俸給ノ支出ニ付キマ  
シテ、六大都市ニ付テハ市長ヲ通ジテ拂フ

○政府委員 挿間 駿君)此ノ特別ノ扱ひハ  
六大都市ニ限ル方針アリマシテ、其ノ意  
味ニ於キマシテハ、一種ノ六大都市ノ特別  
規定デアルト云フ風ニ御考ヘ戴キタイト思  
ヒマス

知事が相當案ヲ立ッテ内務省ニ御相談ニナルコトト思ヒマスガ、是ノ結果方針ガ立ッテアルノデアルカ、方針ガ立タナクテモ法令ノ結果當然廢シ得ルモノデスカ、ソコヲ伺ヒ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ分與稅ハドウ  
モ解決ガ付キ難イ問題デアリマシテ、御手  
許ニ差上ゲテ居リマス衆議院ニ於ケル質疑  
應答要旨ノ最後ニ政府トシテノ方針ヲ二三  
例示致シテ居リマシテ、之ヲ御覽ニナリマ  
スト分リマスガ、大體我々ノ所デハ五ツノ

ヤウニスルト云フ衆議院ノ意見ヲ入レラレ  
テ、サウ云フ勅令ヲ御作リニナリマシタト  
云フ大臣ノ御説明デアッタヤウニ伺ヒマス  
ガ、其ノ方法ハドウ云フヤウニナルンデア  
リマセウカ、府縣費ノ方カラ矢張リ其ノ六  
大都市ノ市ノ豫算ニソレヲ組入レテ支出ス

○白根竹介君 只今ノ三部制廢止ノ問題デ  
スガ、府縣デ今府縣知事ヲシテ郡部經濟、  
市部經濟ノ調和ヲ圖ルベク、立案サセテ居  
ルト云フ御詰デアリマシタガ、其ノ案ガ出  
來テカラ三部制撤廢ヲサルノデスカ、モ  
ウ此ノ法律ガ、改正ナサルト此ノ三部制ト

○政府委員(挾間茂君)　是ハ税制改正ノ關係カラ致シマシテ、十五年度カラ税制ガ變ニテ居リマスカラ、其ノ關係ニ於テ三部制廢止、單一經濟ニスルト云フコトハ、本年四月一日カラ施行致サナケレバナラナイ譯デアリマス、併シナガラ此ノ市部制、郡部制、

第四部第二類 地方稅法案特別委員會

議事速記録第三號 昭和十五年三月二十日

貴族院

リマスガ、一應只今申上<sup>ゲ</sup>マジタヤウナ構成ニナルト思フノデアリマス  
○堀切善次郎君 此ノヤリ方ハ六<sup>シテ</sup>大都市以外ノ、市ノ方デモ色々希望シテ居ルヤウナ模様モ見エルノデアリマスガ、ソレニ付キマシテ御意見ハ如何デアリマセウカ、同様ニ扱フト云フコトニ付テ……

云フヤウナ、非常ナ不均衡ナ状態ニアル、  
デ只今御話ニナリマシタ衆議院ニ於ケル御  
答辯デスガ、斯ウ云フ風ニシテ調和スルト  
云フ風ナ御話デアリマシタケレドモ、少々  
市ノ施設ヲ縣ニ移シテヤルトカ、或ハ少々  
ノ補助ヲ市ニヤルト云フ位デハ、逆モ追著  
カヌノデヤナイカト思ヒマスガ、ソレハ縣

計ノヤウデスケレドモ内務省ニ於テ相當ノ地方ニ援助ト云フカ、財政上ノ援助デスクカ、御力ヲ添ヘテ知事ノ立場モ考ヘテ能カ圓滿ニ此ノ改革ヲ遂行スルヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレヲ希望シテ置キマス、ソレカラ教員俸給ノ支拂ノコトデゴザイマスガ、只今六大城市デハ市ヲ通シテヤル、今

度六大城市ナラザル府縣ニ於テハ一々田舎ノ方ノ少サイ學校ノ教員ノ俸給仕拂ニドウ云フヤウナ方法ヲ以テヤラレルノデスカ○政府委員(秋間茂君)是ハ實ハ文部省ノ方ノ關係ニモナルト思ッテ居リマスガ市ハ無論問題ナク參ル思ヒマス、田舎町村デヤリ方ニ多少ノ困難ヲ伴フト存ジマスガ、マア銀行トカ、或ハ郵便局等ヲ用ヒテ俸給仕拂ノ手續ヲ執ルコトニナルト存ズルノデアリマス

○白根竹介君 只今地方ノ狀況ヲ見マスト云フト、元ノ郡役所ノ在ツ所ニ或ハ縣ノ稅務官吏ガ駐在シテ居リ、又產業助長ノ衝ニ當ッテ居ル役人ガ居リマス、ソレカラ又米穀検査員トカ、木炭ノ検査員トカ、サウ云フヤウナ官公吏ガ現ニ駐在シテ居リマス、デ極ク冷靜ニ考ヘテ見マスト、事實上郡長サソハ居ナイケレドモ郡役所廢止前ノ吏員ノ頭數位府縣ノ吏員ガ居ルヤウナ實情デスガ、サウスルト結局ソレガ一々ノ官公吏ニ備品費トカ、旅費トカ、消耗品デアルトカ、俸給以外ノモノニ付テ、其ノ費用ノ全體ヲ集メマスト、一ツノ郡役所ヲ設ケタ方ガ却テ都合ガ好イヤウニ思フノデゴザイマス、デ時々郡役所ヲ復活シテハドウカト云フヤウナ議論ガ出ルノモ矢張リサウ云フ所カラ見ラレル、ソレカラ又實際中級ノ役所ガナイト只今ノヤウナ何デモ彼デモ町村ノ調べ物ヲ寄越ス、殊ニ非常時局ニ當リマシテ居ル分澤山ナ負擔事務的ニ町村ニ殖エテ居ルノデアリマシテ、中間ニ餘リ費用モ掛ラズ、又各町村モ非常ニ助カルト云フヤウナ利益ガアレバ、名ハ郡役所ト言ハナクトモ宜シウゴザイマスガ、何カサウ云フヤウナ役所

ガアッタ方ガ宜イヤウニ私ハ恩フノデアリマスガ、其ノ邊ニ付テ……、ソレカラ只今ノ教員ノ俸給ナシカノ關係ニシマシテモ、サウ云フ足溜りガアリマスト非常ニ都合ガ好イソデアリマスガ、現在ドウ云フ風ニ御考ニナシテ居リマスカ、此ノ問題ニ付テ時々御答辯ガアリマスヤウデスガ、内務省ガ眞劍ニサウ云フモノヲ置カウ、置イタ方ガ宜イカ、置イタ方ガ惡イカト云フコトヲ眞劍ニ調査ヲ爲サシテ居ラレマスカ、ドウデスカ、其ノ狀況ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 白根君ノ郡役所ニ關係シマスル御話デアリマスガ、誠ニ御尤モナ御話ト存ジテ居ルノデアリマス、御話ノヤウナ風ニ郡役所、又ハ郡役所ニ代ルベキヤウナ中間機關ヲ置イタ方ガ宜イデ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 内務省ニ於キマシテモ一應ノ腹案ガ果シテ今日ノ實情ニ適シテ居ルカ否ヤト云フコトニ付テ再検討シナケレバナリマセヌシ、又其ノ以外ニ色々ノ御意見ガアルト思ウテ居リマスカラ、スルト云フ段ニナシテ見マスト、府縣ノ豫算ノ上ニ於テ還付稅、配付稅ト云フコトニナルト、是ハ收入ノ方ニ計上サレルコトニナルノデアリマスケレドモ、一見府縣カラ何處カヘモノヲヤルヤウニ見ヘルノデアリマスガ、何カ外ニ適當ナ名稱ハナカツタモノデアリマセウカ、是ガ若シ租稅デアルト云フコトニナルト、租稅トハ如何ナルモノカ

○白根竹介君 承知致シマシタ、モウ一ツテ検討ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ結論ヲ得タイモノトスウ考ヘテ居ルノデアリマスノガ實體ハ頭ニ能ク入リマシタノデスガ、我々之ガ租稅デアルト云フ建前ノモノノヤウニ考ヘマスケレドモ、我々ノ租稅ニ對スル通念トシテハ、下カラ取上ゲルモノハ租稅デアルケレドモ、上カラ頂戴スルモノヲ税ト云フハチヨットヲカシナヤウナ氣ガスルノデアリマス、ソレカラ又法律ヲ讀ミマスト「還付稅ハ道府縣ニ、配付稅ハ道府縣及市町村ニ對シテ之ヲ分與ス」誰ガ分與スルカラ、税トハ少シ性質ガ違フケレドモ分與

ト思フノデアリマスガ、此ノ名稱ニ付ハ

ト言ヘバ國ガ分與スル、國ガ分與スル稅金

ヲ分與稅ト云フハドウモ少シ分リニクイ

ト思フノデアリマスガ、此ノ名稱ニ付ハ

ト考ヘテ居リマス、從ツテ今御話ノヤウナ

色々御苦心ナサシタ結果適當ナ名稱ガナ

リマス、唯私共ノ考トシマシテハ、此ノ

還付稅ニ致シマシテモ、配付稅ニ致シマ

トシテハ一應御述ニナリマシタヤウナ疑問

ガ生ジマスノハ誠ニ御尤モダト思フノデア

リ、ソレカラ此ノ法律ノ手續ヲ通シテ分離  
セラレルコトニナル譯ニアリマス、元來申  
シマスルト、還付税ニシマシテモ、配付税  
ニシマシテモ、其ノ基トナル地租家屋税、  
營業税ニ對スル此ノ分ノ課稅、所得稅、法  
人稅等ノ此ノ分ニ對スル課稅ト云フモノガ  
全部此ノ分與稅法ノ中ニ規定セラルベキモ  
ノト思フノデアリマスガ、併シ是ハ既ニサ  
ウ云フ別個ノ法律ガ存在シテ居リマスシ、  
殊ニ所得稅、法人稅等ニ付キマシテハ、更  
ニ此ノ別個ノ規定ヲ此ノ中ニ作リマスコト  
モ無用ナ手續ト思ヒマスノデ、此ノ法律ニ  
於キマシテハ分與ノ手續ダケガ規定セラレ  
テ居リマスガ、一體トシテハ是ハ地方ノ財  
源トシテ認メラレテ居ルモノノデアリマシテ  
テ、其ノ總テノ行程ヲ總稱致シマシテ地方ニ  
分與稅ト言フ譯ニアリマス、從ヒマシテ其  
ノ手續ノ中間ニ於テ、國ガ賦課徵收スル手  
續、ソレカラ此ノ法律ニ依リマシテ地方ニ  
分與セラレル手續ガ中間ニ入りマスルケ  
レドモ、此ノ全體ヲ通ジテ考ヘマスト、  
獨立稅附加稅ニ對應致シマシタ別ノ新シキ  
分與稅ト云フ一つノ稅ノ體系ヲ作ルト云フ  
風ニ御考ヘ戴キタイノト思フノデアリマス、  
先日モ申上ゲマシタヤウニ「ドイツ」「ア  
メリカ」等ニ於テモ同様ノ制度ヲ設ケテ居  
リマシテ、矢張リ「ドイツ」ニ於キマシテモ  
「アンタイル・シエアード・タックス」ト云フ言葉ヲ  
稅ト云フ言葉ヲ用ヒテ居リマス、「アメリカ  
カ」デハ「ステート・アドミニスター・ド・ロー  
カリー・シエアード・タックス」ト云フ言葉ヲ  
用ヒテ居リマスガ、日本デモサウ云フ風ニ  
見テ行キタイト思シテ居リマス。

ト解スル、斯ウ云フ御話ノヤウデアリマス  
ガサウ致シマスト、税ト云フ名稱ヲ附ケナ  
ケレバ此ノ分與税ト云フモノハ確立出來ナ  
イモノデアリマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 行程ダケデハナイ  
ノデアリマシテ、國ガ徵收取致シマシテ、地  
方團體ノ手ニ入りマス迄ノ總テノ過程ヲ經  
テ入りマス、其ノ歲入ヲ税ト云フ風ニ考ヘ  
テ居ルノデアリマス、是ガ矢張り税デアルト  
云フ一つノ觀念ヲ私共ハ茲ニ作リタイト思フ  
ノデアリマス、是ハ一面政治的ノ意味ヲ含マ  
レテ居ルノデアリマスガ、矢張り地方團體ノ財  
源トシテ税ヲ得テ居ルト云フコトガ其處ニ非  
常ニ大切ナ意味ヲ持ツト考ヘテ居リマス  
○塩田園平君 先刻外國ノ例ヲ御述ニナリ  
マシタガ、歐米ノ「タックス」ト云フ意味ト、  
我ガ國ノ税ト云フ觀急ハ斯ウ云フ點ニ於テ  
一致スルト御思ヒニナリマスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ大體同ジモノ  
デハナイカト思ツテ居リマス

○男爵松平外興麿君 先程白根委員カラ御  
話ガアリマシタガ、地方制度ノ中ノ郡役所  
ヲ復活スルカ、他ニ代ルベキ機關ヲ設置ス  
ルカト云フ問題ニ付テ尙伺ヒタイ、從來ノ  
郡役所ノ諸經費ト云フモノハドノ位ノ額ニ  
ナツテ居リマスカ、是迄ノ郡役所ノ關係ノ經  
費ノ總額ハドノ位ニナツテ居リマスカ

○政府委員(挾間茂君) 今ハッキリ記憶シテ  
居リマセヌガ、確カ一千萬圓位デ、郡役所ヲ  
廢止スルコトニ依ツテ減額サルモノガ國費ニ  
於テ五百萬圓位ダト思ヒマスガ、尙是ハ當  
時ノ記錄ヲ調べマシテ御答へ申上ゲマス

○男爵松平外興麿君 先般來問題ニナツテ居  
ル都制ノ問題デアリマスガ、都制ト云フモ  
ノガ假ニ設定セラレ、特別市制ト云フモノ

ガ實施セラレルト云フ曉ニナリマシテ、今回ノ此ノ分與稅、地方稅制度ト云フモノハ、假ニサウ云フ制度ガ布カレマシテモ變更ノナイモノデアリマセウカ、或ハ都制實施ノ曉ニ於テ、多少ノ特別ノ都市ニ對シテ特別ノ課稅權ヲ或程度認メルトカ、何カ變更ヲ來スベキモノデアリマセウカ  
○政府委員(挾間茂君) 都制、特別市稅ガ施行セラレマシタ場合ノ稅制トノ關係ノ御話デゴザイマスガ、是ハ都制、特別市制ヲドウ云フ風ニ立テルカト云フコトニ依ツテヤリ方ガ違ツテ來ルト思ヒマス、假ニ府縣カラ全然是ガ獨立シタ同等ナ團體ト云フコトニナリマスト、稅制ノ建前モスッカリ變ヘテ參ラケレバナラスト思フノデアリマス  
○男爵松平外與麿君 勿論今ノ御説明通りデアリマスルガ、内務當局トシテノ都制、將來マア都制ト云フモノガ實施サレルニ付キマシテノ内務省ノ御腹案デアリマスカ、御希望ト云フモノガオアリニナリマスデセウカ、全然マダソレニ對スル御考ハナイノデアリマセウカ、ソレヲ一つ承リタイ  
○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 色々ト研究ハ積ンデ居ルノデアリマスケレドモ、ドノ案ヲ以テ内務省ノ案トスベキカト云フコトニ對シテハマダ其ノ最後決定迄行ツテ居リマセヌノデアリマス  
○男爵松平外與麿君 御尤モナ御答辯デアリマスガ、併シ特別市制ハ私一個ノ考トシテ申上ゲルノデスケレドモ、特別市制ト云フモノハ或點迄府縣ト關聯ガアルベキモノガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、都制トナルト全然別個ノ自治體トナルノデ、多少從來ノ道府縣トノ關係ヲ離レルノデヤナイカト想像スルノデスガ、是ハ私ダケノ考デ

スガ、ソレ等ノ點ガゴザイマスノデ、將來都制及特別市制ノ御研究ノ結果、愈々御發布ニナル場合ニ於テハソレ等ノ點ヲ十分考慮セラレマシテ、今回ノ地方制度ノ税制トノ關聯ヲ十分研究遊バサレテ、適當ニ是等ノ處置ノ出來マスヤウニ一ツ只今カラ御願ヒシテ置キマス

○伯爵齋本實斐君 極ク素人トシテノ御尋デゴザイマスガ、或ハ意味ヲ成サヌカト存ジマスルガ、今回ノ税制改革ニ依ッテ來ル增收入ガ市町村ノ行政事務ノ分布ノ點カラ見マシテドウ云フ關係ヲ持ツテ居ルカ、ト申シマスノハ、市町村ニハ隨分國ノ委任行政事務ガアル、其ノ外市町村固有ノ事務ガアルノデアリマスガ、今回ノ税制改正、ソレカラ又法律改正ニ依リマシテ例ヘバ義務教育ノ國庫負擔ノ如キ、或ハ現役小學校教員ノ俸給費ノ如キハ、是ハ國ノ行政事務ニ對スル國家ノ支給金デアルト思ヒマスケレドモ、其ノ他町村ノ固有ノ事務トシテ見ルコトモ出来、或ハ國家の事務トモ見ラマスケレドモ、例ヘバ都市計畫費ノヤウナ、目的稅カラ言ツテ生ズル費目、是等ハ其ノ目的ニ釘付ケニサレタ費用ト思ヒマスルガ、其ノ他ノ今回ノ税制改正カラ入ツテ參リマスル一切ノ收入ハ之ヲドウ云フ風ニ各自治團體ニ合ツテ分ケルカ、是ハ固ヨリ自治團體各々其ノ立場立場ニ依リマシテ接配シテ使用スルコトト存ジマスルガ、大キナ都市、ソレカラ農町村ノ固有事務、是等ニ使ヒマスル重サカラ見タナラバ、ドウ云フ風ナ影響ガアルノ括のニ見マシテ國ノ委任事務、ソレカラ農漁山村ノ如キ在リ場所ニ依ツテ各々自治團體ノ經費ノ使ヒ方ガ違フト存ジマスルガ、概括のニ見マシテ國ノ委任事務、ソレカラ農町村ノ固有事務、是等ニ使ヒマスル重サカラ見タナラバ、ドウ云フ風ナ影響ガアルノシテセウカト云フコトヲチョット、極ク素人の

ナ考デニザイマスガ、ドウ云フ影響デニザ  
レニ關聯致シマシテ從來ノ國ノ委任事務ニ  
要スル經費、ソレカラ市町村固有ノ行政事  
務ニ使ハレマシタ行政費用ヲ大凡大摺ミデ  
宜シウゴザイマスカラ伺ヒタイト思ヒマス  
○政府委員(挾間茂君) 今回ノ稅制ノ改正  
ト國費地方費ノ負擔區分ノ問題トハ別個ノ  
問題トシテ考ヘテ居ルノデアリマス、無論  
此ノ稅制ガ改正サレマシテモ此ノ結果餘程  
此ノ地方ノ財政ト云フモノニハ樂ニナル地  
方ガ澤山出來テ來ル譯デアリマスケレドモ  
之ヲ之ダケノ問題トシテ、國費ノ負擔區分  
ヲ明瞭ニ區分致シマセヌト將來ノ地方ノ負  
擔ハ其ノ爲ニ益<sup>メ</sup>增加シマシテ、又此ノ稅制  
改正ガ意味ヲ爲サナイコトニナル虞ガゴザ  
イマスカラ一面此ノ稅制改正ヲ致シマスト  
同時ニ負擔區分ノ問題ヲ將來ハッキリト致  
サナケレバナラスト考ヘテ居リマスノデ、  
ソレデ併シ是ハ國ノ財政トノ關係モアリマ  
スジ、非常ナムツカシイ問題デアリマシテ、  
又各省ニモ亘<sup>ツ</sup>テ居ルコトデアリマスカラ引  
續イテ政府トシマシテハ此ノ問題ノ妥當ナ  
解決ヲ致シタイト思フノデアリマス、デ將  
來ノ事務ノ區分、費用ノ負擔區分ニ付テハ  
出來得ル限り具體的ノ問題ニ付テ其ノ負擔  
歩合等ヲ決定致シタイト思フノデアリマシ  
テ、政府ニ地方行政聯絡委員會ヲ作リマシ  
テ、ソレデ關係各省ガ寄<sup>シ</sup>テ研究ヲ是カラ致  
了解ヲ願<sup>シ</sup>テ置カナケレバナラスト思ヒマス  
ノハ事務ノド<sup>ク</sup>程度ガ國費トシテ負擔スベ  
キモノデアルカト云フコトヲ決定スルノガ

ト思ヒマスケレドモ、今申上ゲマシタヤウ  
ナ方法デ出来ルダケ進メテ參リタイト思ツ  
テ居リマス、尙負擔區分ノ資料ト致シマシ  
テ、地稅第二十六號ト云フモノデ經費ノ負  
擔區分ヲ致シマシタモノヲ差上ゲテ置キマ  
シタカラ御覽ヲ願ヒタイ、ソレカラアノ先  
程捠切委員カラノ御尋ノ點デ留保致シテ置  
キマシタ東京市内ノ家屋稅ノ負擔關係デゴ  
ザイマスガ、御述ニナリマシタ通り改正前  
ノ稅制ニ依リマスト十三年度ノ徵收稅額ハ  
二千三百萬圓デアリマス、之ニ自然增收ヲ  
加ヘテ考ヘマスト十五年度ニ於テ此ノ現行  
稅制ニ依リマスト二千四百三十一萬七千圓  
ノ收入見込デアリマス、之ヲ改正後ノ稅制  
ニ依リマスト二千五百四十四萬四千圓ト云  
フ數字ニ一應ナルノデアリマスガ、是ハ  
現在ノ賃貸價格ヲ其ノ儘ニ見マシタ場合ノ  
額デアリマシテ、先刻申シマシタ通り賃貸  
價格ハ國稅トナリマスト國デ決定致シマシ  
テ、現在ノ十八億圓程度ヲ十五億圓ニ壓縮  
致シマスノデ、其ノ結果ドウ云フ風ニナリ  
マスカ、チヨット不明デゴザイマスガ、現在  
ノ儘デ考ヘマスト斯ウ云フ計數ニナルヤウ  
デアリマス

○諸橋久太郎君　此ノ臨検ト云フ言葉デ  
○政府委員(挾間茂君)　ソレハ現在ノ府縣  
制ノ第百十六條ソレカラ市制百二十七條、  
町村制百七條、ソレカラ北海道ノ二級町村  
ノ規定ハ、北海道ノ地方費法ノ北海道一級  
町村ニ付テハ町村制ノ規定ヲ準用セラレテ  
居リマシテ、營業所ニ臨檢スルト云フ何レ  
モ文字ヲ使ツテ居リマス

○諸橋久太郎君　此ノ臨検ト云フ言葉  
ハ現代ニ於キマシテ相當不愉快ナ或ハ義務  
者ニ對シテ、擔稅者ニ對シマシテ威脅ヲ感  
ズルヤウナ、サウ云フコトガ多分ニ含マレ  
テ居リマシテ、今日我國ノ如キ八紘一字  
ノ大國民ニアリマス故ニ、何カサウ云フ風  
ナ彈壓ガマシイコトハチト適應シナイトイ思  
ヒマスガ、如何デゴザイマセウカ、此ノ際  
何カ適當ナ字句ガアリマシタナラ御改正  
願フコトガ必要ダト思ヒマスガ……

○政府委員(挾間茂君)　是ハ只今申シマス  
ヤウニ各法律ニ規定ガゴザイマスノデ、其  
ノ儘踏襲シタノデゴザイマス

○諸橋久太郎君　何カ適當ナ字句ヲ御發明  
ナサルヤウナ御考ハアリマセヌカ、私共ノ  
經驗ニ依リマスト、直接稅ニ於キマシテ、

稅務署ノ方ガ納稅義務者ノ家ニ行シテ、サ  
ウシテ何カ嫌疑、容疑ノヤウナ風ナ意思ヲ  
以テ臨マレルノデアリマス、デ國民トシテ  
ハ誰レモガ非常ニ不愉快ニ思シテ居リマス  
ノデ、ソレヲ地方稅ノ方ニ於テモ飽ク迄稅  
務官ノ如キ態度ヲ以テ臨マレタナラバ、一  
層精神ガ萎縮シマシテ、自己ノ職務ニ勉勵  
スルノガ嫌ダトカ何トカト云フ風ナ怠慢ナ  
思想ヲ喚起スルコトヲ恐レルノデアリマス  
○政府委員(挾間茂君) 實ハ府縣制ノ方ニ  
ハ、八十一條ノ第二項ノヤウナ規定モナカッ  
タノフ、特ニ今度ハ加ヘタノデアリマシテ、  
成ル程字句ハ少シ穩カデナイカモ知レマセ  
スガ、實際ノ扱ヒハ極ク穩カニ致シマシテ  
進ム積リデアリマス  
○子爵伊東二郎丸君 分與稅配付年四回、  
是ハ何時決定爲サシテ、毎回同ジ額ヲ四等分  
シテ御配付ニナルノデスカ  
○政府委員(挾間茂君) 是ハ額ハ四等分致  
シマシテ配付致シマスガ、配付ノ時期ニ付  
キマシテハ、色々ナ稅ノ入シテ居リマス期  
日等ノ關係ガゴザイマスカラ、其ノ點ヲ睨  
ミ合セマシテ、命令デ適當ナ時期ヲ確定ス  
ルヤウナ考デアリマス  
○子爵伊東二郎丸君 サウスルト各道府縣  
違ツタ時期ニ入ルト云フコトニナル譯デスネ  
○政府委員(三好重夫君) 只今局長ガ御答  
辯申上ゲマシタ通り、年四回ニ分ケテヤル  
ノデゴザイマスガ、是ハ府縣、市町村ト時  
期ガ自ラ異ルヤウニナリハセヌカト思ッテ  
居リマス、府縣稅、市町村稅ノ徵收時期、  
或ハ府縣ニ付キマンシテハ、義務教育費ノ國  
庫負擔金ノ交付時期、サウ云フヤウナモノ  
ヲ睨ミ合セマシテ、國庫財政ノ經理ノ上、  
或ハ地方財政ノ經理ノ上デドチラニモ支障

ノナイ適當ナ時期ニ決メナケレバナラヌト  
思ヒマシテ研究中デゴザイマス、尙還付税  
ニ於キマシテハ交付期ノ直前ニ事實入リマ  
シタ税ヲ交付スル豫定デアリマスカラ、從ツ  
テ四等分ニ相成リマセヌ關係モ起ルカト思  
ヒマス

○子爵岡部長景君 チヨット關連シテ伺ヒ  
タイト思ヒマスガ、豫算ノ關係ハドウ云フ  
コトニナリマスカ、地方ノ豫算ハ十月頃出  
來ル譯デスガ、其ノ豫算ニ次年度ノ還付税、  
或ハ配付税ノ額ヲ豫定シナケレバナラヌト  
思ヒマスガ、ソレハドウ云フ風ナ關係ニナッ  
テ決ルノデセウカ

○政府委員(挾間茂君) 豫算ノ編成ヲ致シ  
マスノハ、府縣ハ秋頃ニナリマス、市町村  
ハ冬ニナリマスガ、ソレ迄ニハ確定ヲ致シ  
マセヌト豫算ヲ組メマセヌ、未確定ノモノ  
ヲ組ミマシテ、後ニ増額シタリ還付シタリ  
ト云フコトデハ、地方ノ財政ガ不安定ニナ  
リマスノデ、ソコデ前年度ノ夏頃ニハ各地  
方團體ニ對シテ、翌年度ノ來年度ノ配付  
税ノ確定額ヲ通知スルコトニ致シテ居リマ  
ス、從ヒマシテ配付税ハ成ルベク其ノ年度  
ニ近イ時期ヲ、押ヘタイト思ヒマスケレド  
モ、前年度ヲ押ヘルト云フコトハ、到底年  
度開始後二三箇月ニナリマシテ押ヘラレマ  
セヌノデ、已ムヲ得ズ前々年度ノ徵收額ヲ  
押ヘルト云フコトニ致シマシテ、地方分與  
稅法第六條ニ「毎年度分トシテ分與スベキ  
付税ノ額ハ前年度ニ於テ徵收シタル」云々  
ト云フコトニ已ムヲ得ズ致シタノデアリマ  
ス、ハッキリシタ數字ヲ前年度ノ夏頃ニ各團  
體ニ通知シテヤルコトニ致シテ居リマス  
○子爵岡部長景君 決定額ノ通リニ配付出  
來ル御見込デスカ、事實出來マスカ知ラ  
……

○政府委員(挾間茂君) 決定額ハ前々年度  
ノ額ヲ押ヘマスレバ、金額ハ確定致シテ居  
リマスノデ、其ノ通り配付シテヤリマス  
○子爵岡部長景君 實際同時ニ歳入ガ取り  
得ナカッタヤウナ場合ニハドウナルノデス  
カ

○政府委員(挾間茂君) 只今申シマシタヤ  
ウナ配付税ノ額デアリマスガ、配付税ノ額  
ハ收入が確定致シテ居リマスカラ、決定額  
通り参リマス、ソレカラ還付税ノ方ハ是ハ  
見込額ニナラザルヲ得ナイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 チヨット私ヨリ分ラナ  
イノデスガ、歳入ガ確定シテ居ル、前々年

度ノ額ガ確定シテ居ル譯デスネ、ソレデ今

年度ノ實際ヲ交付サレルコトニナル譯デス

ネ、二年前ノ額デ決定シテ、一年ノ後ニ其

ノ額ヲ交付スル額ガ決ル譯デスガ、實際二

年後ノ歲入ト云フモノヲ前々年度ノ標準ニ

依ツテ決メタ額ト同様ニ行クカドウカト

云フコトハ、殖エレバ結構デスカ、足リナ

カッタ場合ニハ足リナクナル譯デヤナイノ

デスカ

○政府委員(挾間茂君) 前々年度ノ額ハ確  
定致シテ居リマスルカラ、ソレヲ翌々年度

ノ配付スル年ニ於ケル豫算ニ組ミマシテ、

御審議ヲ御願ヒ致ス譯デアリマスカラ、額

トシテハ確定致シテ居リマス

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ガナケ

レバ、午前ノ會議ハ是デ閉デマシテ、午後

伊ト思ヒマス、休憩致シマス

午後零時一分休憩

○政府委員(挾間茂君) 決定額ハ前々年度  
ス、午前ニ續行致シマシテ御質疑ヲ願ヒマ  
ス

ス、午前ニ續行致シマシテ御質疑ヲ願ヒマ  
ス、午前中ニ岡部子爵  
リマスノデ、其ノ通り配付シテヤリマス  
○子爵岡部長景君 實際同時ニ歳入ガ取り  
得ナカッタヤウナ場合ニハドウナルノデス  
カ

○政府委員(挾間茂君) 只今申シマシタヤ  
ウナ配付税ノ額デアリマスガ、配付税ノ額  
ハ收入が確定致シテ居リマスカラ、決定額  
通り参リマス、ソレカラ還付税ノ方ハ是ハ  
見込額ニナラザルヲ得ナイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 チヨット私ヨリ分ラナ  
イノデスガ、歳入ガ確定シテ居ル、前々年

度ノ額ガ確定シテ居ル譯デスネ、ソレデ今

年度ノ實際ヲ交付サレルコトニナル譯デス

ネ、二年前ノ額デ決定シテ、一年ノ後ニ其

ノ額ヲ交付スル額ガ決ル譯デスガ、實際二

年後ノ歲入ト云フモノヲ前々年度ノ標準ニ

依ツテ決メタ額ト同様ニ行クカドウカト

云フコトハ、殖エレバ結構デスカ、足リナ

カッタ場合ニハ足リナクナル譯デヤナイノ

デスカ

○政府委員(挾間茂君) 前々年度ノ額ハ確  
定ヲ見ル譯デアリマスカラ、其ノ決定ヲ

ルガ、若シ其ノ年度ニ於ケル收入ガ不足致シマシタ場合ニハ、特別會計デ借入金ヲ致ジマストカ、或ハ從來ノ積立金ガゴザイマスレバ、ソレヲ充當スルト云フコトニナル譯デアリマス

〔宇佐見勝夫君發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(子爵前田利定君) 關聯シテ居リマスカ

○宇佐見勝夫君 ハイ……チヨット伺ヒマスガ、地方分與稅ノ分與金ノ特別會計法案、此ノ中ニ第二條ニ一般會計ヨリノ受入金、斯ウ云フ風ナコトガアリマスガ、此ノ一般會計ヨリノ受入金ト云フモノハ、來年度ノ豫算ニ確カ二十七萬圓程組ンデアルト思フノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノデアリマスカ

○政府委員(挾間茂君) ソレハ二億七千五百、百分ノ五〇、此ノ率デ、三億二千七百萬圓ニナル譯デゴザイマスガ、昭和十五年五月、百分ノ五五、此ノ率デ、三億二千七百萬圓ニナル譯デゴザイマスガ、マシテハ三億二千七百萬圓ニナル豫定デゴザイマス、之ヲ分與稅ノ率ノ百分ノ一六・五

○政府委員(挾間茂君) は、來年度ノ豫算ニ付キマシテハ、其ノ地元ノ縣ニ於キノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノノデアリマスカ

○政府委員(挾間茂君) は、來年度ノ豫算ニ付キマシテハ、其ノ地元ノ縣ニ於キノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノノデアリマスカ

○政府委員(挾間茂君) は、來年度ノ豫算ニ付キマシテハ、其ノ地元ノ縣ニ於キノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノノデアリマスカ

○子爵岡部長景君 他ノコトヲ伺ヒタト思ヒマスガ、市町村稅ノ目的稅ノ中ニ共同施設稅ト云フノガゴザイマスガ、府縣稅ノ方關係デ三億二千七百萬圓デ、其ノ配付稅ガ必要デナイ譯デアリマシテ、從ッテ此ノ額ニ相成ツテ居リマス

○子爵岡部長景君 は、來年度ノ豫算ニ付キマシテハ、其ノ地元ノ縣ニ於キノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノノデアリマスカ

○政府委員(挾間茂君) は、來年度ノ豫算ニ付キマシテハ、其ノ地元ノ縣ニ於キノデスガ、其ノ二十七萬圓ト云フモノハドウ云フ目處デ計算サレタモノノデアリマスカ

○子爵岡部長景君 私ノ伺ツク趣旨ハ、豫テ國立公園ニ付テ私委員モシテ居タリ、色々關係シテ居ルノデアリマスガ、茲ニモ外ニ委員ノ方ガ大分居ラレルヤウデアリマスガ、國立公園ト云フモノハ、今日ハ自動車モ大分「ガソリン」ガ統制サレテ減ツテ居ルカモノレマセヌガ、他府縣カラ多數ニ入ツテ來テ、國立公園ノ道路ヲ荒シテ歩イテ、マア非常ニ修繕費ガ要ル譯デアリマスガ、地元ノ方デハ殊ニ自動車ノ御客ハ餘リ金ヲ落シテ行カナイ、寧ロ往來ヲ傷メテ歸ツテ行クト云フノデ、ドウシテモ是ハ入園稅ヲ取ランケレバイカヌグラウト云フコトヲ豫テ主張シテ、ソレニ依ツテ道路ノ修繕費ニ充てタラ宜カラウト云フノデ、是ハ是非共サウシナナレバ到底國立公園ハ維持出來マトイ云

○子爵岡部長景君 サウ云フ御趣意デアレベ結構ダト思フノデアリマスガ、ソレヲシテ成ルベク各府縣ニ普遍的ニ課シテ居ルモノヲ代表的ニ茲ニ掲ゲタノデアリマシテ、扇風機ハ三十八府縣ニ於テ之ニ對シテ課稅ヲ致シテ居リマスノデ、茲ニ掲ゲタノデアリマス、實際國立公園ガ出來テモ今デハ唯制限バカリ受ケテ、其ノ地元邊リハ寧ロ迷惑シテ居ルト云フコトハ無理カラヌコトデアル、又或意味ニ於テソレモ已ムヲ得ナイ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ現在雜種稅トコトヲ言ツテ居リマス、ソレハ又取ルノガ當然デアルト思ツテ居リマスガ、共同施設稅ノヤウナモノデ、府縣デサウ云フヤウナ目ナレバ到底國立公園ハ維持出來マトイ云

○子爵岡部長景君 云フモノハ扇風機ヨリモ餘程前ラカ使ハレシナケレバナラヌコトモ多々アルノデアリマスカラ、ドウシテモサウ云フヤウナ國立公園ト云フヤウナ地域ニ於テハ、一般ノ産業ト區別ノ出來ニクイヤウナ……例ヘバ自動車稅ヲ取ルニシテモ、產業ノ自動車ト國立公園ノ遊覽自動車ト區別ガ付カナイト云

○子爵岡部長景君 是ハ結局「ストーブ」ト云フモノハ扇風機ヨリモ餘程前ラカ使ハレテ居タカラ、課稅ト云フコトノ對象ニマダナラナイデ經過シテ來タノデハナイカト思ヒマス、扇風機ハ「ストーブ」ヨリハ遙カニ後ニナツテ段々ニ利用サレテ來タモノデスカ

○子爵岡部長景君 ラチヨツト其處ガ目立ツテ課稅ノ目標ニナツ

タノデヤナイカト思フ、併シ今日ニナツテ見  
レバモウ殆ド其處ニ區別ハナイト思フノデ、  
扇風機ニ掛ケルナラ、電氣「ストーブ」瓦斯  
「ストーブ」位ニハ無論カケテ宜クハナイカ  
ト思ヒマスガ、……

○政府委員(挾間茂君) ドウモ暖房トナリ  
マスト色々アリマシテ、チヨット區別ガ付  
キニクイ點モアルカト思ヒマス、寒イ地方  
ノ農村方面デ用ヒマスル暖房ト云フモノハ  
一種ノ生活必需品ノヤウニ思ヒマスシ、暖  
房ノ種類ニ依ルコトデモアリマスノデ、多  
少扇風機トハ……性質ノ上カラ申シマシテ  
モ扇風機ノ方ハ奢侈的ノ意味ヲ持ッテ居ル  
ト思ヒマス、普遍的ノモノト致シマシテ現  
在府縣稅デ取シテ居リマス現狀ヲ此ノ儘移ス  
方ガ適當チヤナイカト思ヒタノデアリマス

○子爵岡部長景君 尚ソレハ御研究ヲ願フ  
コトニ致シマシテ、モウ一つ、是モ矢張リ  
扇風機ヲ大變目ノ敵ニシテ居ルヤウデアリ  
マスガ、扇風機一ツニ付テモ稅ヲ課スル位  
ナラ、冷房裝置或ハ暖房裝置ヲ持ッテ居ル  
家ト云フモノハ扇風機何百臺ニモ優ルモノ  
デアラウト思フノデアリマスガ、是ハ家屋  
稅ノ方デ矢張リ課稅サレル譯デセウカ

○政府委員(三好重夫君) 冷房ニ付テ八只  
今ノ處冷房裝置自體ヲ課稅客體トシテ取シテ  
居ル特別稅ハゴザイマセヌ、併シナガラ冷  
房裝置ガアリマスガ故ニ家賃ニ影響ヲ致シ  
テ居ルト考ヘラレマスナラバ、其ノ部分ニ付  
テハ家屋稅ノ課稅標準タル貨價格ニ影響  
ガ現レテ居リマス、自然或程度ノ家屋稅  
或ハ家屋稅附加稅ガ取ラレテ居ルト云フコ  
トニナツテ居ルダラウト存ズルノデアリマ  
ス

レヲ評價シテ居ラレルカ知リマセヌガ、蓋  
シ認メ方ガ低クハナイカト思フノデアリマ  
ス、是ハ相當高ク評價サレテモ宜イモノジ  
ヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、  
○政府委員(三好重夫君) 現在デハ例ヘバ  
金庫デゴザイマスガ、銀行ナドデ大キナ地  
下室全部ヲ金庫ニ致シテ居リマスヤウナモ  
ノニ付キマシテハ、家屋ノ一部トシテ貨貸  
價格ニ評價ヲ致シテ居ルノデアリマス、御  
話ノ冷房裝置ニ付キマシテモ或程度貨貸價  
格ニ見テ居ルコトト存ズルノデアリマスガ、  
尙昭和十五、十六兩年度ニ互リマシテ國稅  
トナリマス家屋ノ貨貸價格ノ調査ヲ致シマ  
スコトデアリマスカラ、其ノ際ニ御話ノ趣  
マス

○政府委員(挾間茂君) 現在デハ例ヘバ  
金庫デゴザイマスガ、銀行ナドデ大キナ地  
下室全部ヲ金庫ニ致シテ居リマスヤウナモ  
ノニ付キマシテハ、家屋ノ一部トシテ貨貸  
價格ニ評價ヲ致シテ居ルノデアリマス、御  
話ノ冷房裝置ニ付キマシテモ或程度貨貸價  
格ニ見テ居ルコトト存ズルノデアリマスガ、  
尙昭和十五、十六兩年度ニ互リマシテ國稅  
トナリマス家屋ノ貨貸價格ノ調査ヲ致シマ  
スコトデアリマスカラ、其ノ際ニ御話ノ趣  
マス

○男爵松平外與麿君 直接此ノ分與稅法案  
ニハ載ツテ居ラナイト思ヒマスガ、配付ヲサ  
レル場合ニ、單位稅額ニハ府縣、市町村通  
ジマシテ租稅收入ト稅外收入ト二ツアルダ  
ラウト思ヒマス、單位稅額ノ計算ノ基準ヲ  
ニハ加算サレナインデセウカ

○政府委員(挾間茂君) 壓縮ト申シマシタ  
ノ基準ト致シマシテハ、稅外收入ヲ見ルコ  
トハ各地方マチノデアリマシテ、之ヲ入  
レルコトハ適當チヤナイト思ヒマス、尙稅ト  
致シマシテモ獨立稅ノ如キハ各地方團體ガ  
思ヒノデ課稅ヲ致ス場合モアリマスシ、  
課稅セザル場合モアリマスルノデ、最モ標  
準ニ加ヘルコトハ適當デナイト思フノデアリマス、ソ  
リマス、結局國稅附加稅タル地租、家屋稅、  
營業稅ト云フヤウナモノヲ課稅力算定ノ

基準ニ加ヘルノガ適當デアルト思フノ  
モノハ道府縣ニ付キマシテハ相當ノ多

額デアリ、且是ハ國ガ検査ヲ致シマシテ、  
ノニ付キマシテハ、災害負債額ヲ加ヘルコトニ

シテ居リマス、尙稅外收入ノ問題ハ稅制全

般ノ問題カラ除外致シマシテ、今回ノ稅制

ニ於キマシテハ稅トシテノ財源ノミヲ對象

トシテ考ヘテ居ルノデアリマス

○上野松次郎君 チヨット御伺ヒ致シマス、  
先程午前ノ御説明ノ中ニ、今度ノ貨貸價格

ノ調査ヲナサツタ時ニ、全體デ十八億位アル

ダラウ、ソレヲ十五億位ニ壓縮ナサルト云

フヤウナ御話デアリマシタガ、物價ガ高ク

ナリ、又家屋ヤ其ノ他モ段々出來テ行クノ

ニ壓縮スルト云フノハドウ云フ理由ニ依ル

ノデアリマセウカ、ソレヲ一つ伺ヒタイト

思ヒマス

○政府委員(挾間茂君) 壓縮ト申シマシタ

ノハ、甚ダ言葉ガ穩カデナカッタカト思ヒマ

ノ基準ト致シマシテハ、稅外收入ヲ見ルコ

トハ各地方マチノデアリマシテ、之ヲ入

レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ

御見込ナンデゴザイマセウカ、ドウモ殖工

ルト見ル方ガ妥當デヤナイカト云フ風ニ、

豫テモ同ジコトヲ云ツカモ知レマセヌケ

賃貸價格ノ調査ニ不適當ナ所ガアルト云フ

レルノデスケレドモ、大體政府ノ見込デバ

十五億ニ減ルト云フ見込ハ、ソレ程多額ノ

云フヤウニ自分達ハ斯ウ見テ居ッテ考ヘラ

ドウモ御説ノヤウニ府縣ニ依ツテ不平等デ

アリ不適當デアルモノガアツタトシテモ、是

ハ十八億デハキカナイ、モット殖エテ行クト

ウニ物價が非常ニ變動シテ居リマスカラ、

ドウモ御説ノヤウニ府縣ニ依ツテ不平等デ  
アリ不適當デアルモノガアツタトシテモ、是  
ハ十八億デハキカナイ、モット殖エテ行クト  
ウニ物價が非常ニ變動シテ居リマスカラ、  
ヤウナ感ジガサレルノデスガ、其ノ點ハド  
ウ云フ御考ヘデスカ

○政府委員(挾間茂君) 先刻申上げマシタ  
ノハ、昭和八年ノ調べデアルト記憶シマス  
○上野松次郎君 サウデスカ

○政府委員(挾間茂君) 昭和八年デス  
ノハ、昭和八年ノ調べデアルト記憶シマス  
○上野松次郎君 サウデスカ

○政府委員(挾間茂君) 先刻申上げマシタ  
ノハ、甚ダ言葉ガ穩カデナカッタカト思ヒマ  
リマスガ、之ヲ嚴密ニ調べマスト、結局十  
五億圓位ニ收マルノデアラウトスウ云フ意  
味デ申上ゲタノデス

○政府委員(挾間茂君) 壓縮ト申シマシタ  
ノ基準ト致シマシテハ、稅外收入ヲ見ルコ  
トハ各地方マチノデアリマシテ、之ヲ入  
レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ  
レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ

都市ニノミ賃貸價格ガ多クナツテ來ルヤウ  
ノ點ヲツカタカト思ヒマセウカ、其  
ノ點ヲツカタカト思ヒマセウカ、其  
レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ

豫テモ同ジコトヲ云ツカモ知レマセヌケ  
レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ

賃貸價格ノ調査ニ不適當ナ所ガアルト云  
御見込ナンデゴザイマセウカ、ドウモ殖工  
ルト見ル方ガ妥當デヤナイカト云フ風ニ、

豫テモ同ジコトヲ云ツカモ知レマセヌケ  
レドモ、サウ云フ場合ニドウモ負擔ノ率ガ

○中川望君 大體重要ナ質問モ終ッテ居ル  
ヤウデアリマスガ、念ノ爲ニ私ハ伺ツテ置キ  
タイト思フコトガアルノデ、二三御問ヲ致  
質問ニ地方債ノコトニ付テノ御質問ガ  
ゴザイマシテ、誠ニ適切ナ御質問ト承ッタ  
ノデアリマス、地方債ノ是迄ノ年々増シ  
方ハ非常ナモノデ、是モ地方ノ發展ニ伴フ  
モノ、或ハ災害ノ結果已ムヲ得ザルモ  
ノデハゴザイマセウガ、隨分近年非常ナル  
厖大ヲ來シテ居ツタヤウニ存ズルノデアリ  
マス、事變以來政府ニ於カレマシテハ、特  
ニ嚴重ニ御取締ニナツテ居リマスルガ、殆ド  
必要ナルモノニ限ツテ、出願ノ五〇「パーセ  
ント」位シカ御認メニナラヌヤウナ誠ニ結  
構ナ御方針デアルト存ズルノデアリマス、  
併シナガラ之ヲ地方財政ノ方面カラ考ヘテ  
見マスト、ドウシテモ今回ノ税制改革ニ依ッ  
テ豊富ナル財源ヲ御與ニナリマシテモ、國  
家ノ發展上、又地方ノ之ニ伴フ色々ノ經營  
ガゴザイマスノデ、地方債ト云フモノハ減  
ズルヨリモ却テ増スト云フコトヲ覺悟セヌ  
ケレバナラヌノデアリマス、ソレデゴザイ  
マスカラ此ノ場合地方税財源ニ付テ十分御  
考慮ガアツタ際デゴザイマスカラ、地方債ト  
云フモノニ付テ根本的ノ見透ヲ付ケテ、何等  
カノ茲ニ制度ヲ御立テニナラヌケレバナラ  
ヌト存ズルノデアリマス、ソレニ付テハ昨  
日モ中央金庫等ニ付テノ御話ガゴザイマシ  
タ、元來地方團體ニ於テ公債ヲ起ス際ニ起  
債ノ能力ト申シマスカ、ドレ程ニ借り得ル  
モノカト云フヤウナコトモ一應矢張リ是ハ  
検討シテ置クベキモノデハナイカト思フノ  
デアリマス、外國ニハサウ云フ矢張リ規定

モ設ケテ程度ヲ決メテ居ル所モアルヤウデ  
アリマスガ、其ノ程度以上ノモノハ是ハ災  
害ノ場合ノ如キハドウシテモ國庫ノ方デ特  
別ノ補助ヲルトカ、或ハ或程度以上ハ無  
理息ノ金ヲ融通スル、低利資金ドコロデハ  
ナク無理息ノ金ヲ融通スルト云フ方法ヲ立  
テナケレバ、到底小ナル團體ノ財政ノ確立  
ト云フコトガ出來ナクナルノヂヤナイカ、  
今度ノ地方分與稅分與金ノ特別會計ノ金ガ  
將來ドウ云フ風ニ是ガ積ツテ、残レバ積ルコ  
トニナリマスガ、ドレ程ニナルカ、澤山金  
ガ餘ルヤウデアレバ或ハ中央金庫ノ方ニ融  
通シテ、地方ノ便宜ヲ圖ルトカ、色々、方  
法ガアルダラウト存ジマス、何等カ將來ニ  
對スル御考慮ガゴザイマスレバ此ノ機會ニ  
承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○政府委員(挿間茂君) 此ノ地方債ハ將來  
ニ地方ノ負擔ヲ殘スモノデゴザイマスノ  
デ、成ルベク是ハ抑制スル方針ノ許ニ參り  
マス必要アルト思ヒマスノミナラズ、最近  
ニ於キマシテハ資金需給關係等モゴザイマ  
スカラ國ノ方針ニ順應シマシテ、出來ルダ  
ケ是ハ抑制スルコトニ致シテ居ルノデアリ  
マスガ、唯地方債ト申シマシテモ其ノ中ニ  
色々ノ種類ガアルノデアリマシテ、例ヘバ  
公營事業ニ關スル起債ノ如キモノニ付キマ  
シテハ、是ハ或ハ見方ヲ變ヘマシテ相當長  
期ノモノニ致シマシテ、地方團體ノ此ノ事  
業ノ經營ヲ資金ノ關係カラ樂ニスルト云フ  
必要ガアルノデハナイカト考ヘマスノデ、  
其ノ點ニ付キマシテハ或ハ場合ニ依ッテハ  
モット長期債等ヲ認メル必要ガアルノデハ  
ナイカト思ヒマス、其ノ外一般ノ歳入ノ補  
填ヲ致シマス起債ニ付キマシテハ、殊ニ此  
ノ赤字公債ノ如キハ極力之ヲ避ケルト云フ

ヤウニ致サナケレバナラヌト思フノデアリ  
マスガ、概シテ地方債ニ付キマシテハ、只  
害ノ場合ノ如キハドウシテモ國庫ノ方デ特  
別ノ補助ヲルトカ、或ハ或程度以上ハ無  
理息ノ金ヲ融通スル、低利資金ドコロデハ  
ナク無理息ノ金ヲ融通スルト云フコトモ起リハシナ  
テナケレバ、到底小ナル團體ノ財政ノ確立  
ト云フコトガ出來ナクナルノヂヤナイカ、  
今度ノ地方分與稅分與金ノ特別會計ノ金ガ  
將來ドウ云フ風ニ是ガ積ツテ、残レバ積ルコ  
トニナリマスガ、ドレ程ニナルカ、澤山金  
ガ餘ルヤウデアレバ或ハ中央金庫ノ方ニ融  
通シテ、地方ノ便宜ヲ圖ルトカ、色々、方  
法ガアルダラウト存ジマス、何等カ將來ニ  
對スル御考慮ガゴザイマスレバ此ノ機會ニ  
承ッテ置キタイト思フノデアリマス

○中川望君 繰イテ是モ先刻裏松子爵ノ御  
質問デ、分與稅ノ配付ニ依シテ、中央依存ノ  
弊害ヲ來ス處ナキヤヲ尋ネラレ、之ニ付テ  
御答辯モゴザイマシタデスガ、衆議院ノ質  
疑應答ノ中ニ書イテアリマスコト、又先刻  
ノ地方局長ノ御説明ノ中ニモ、分與ニ付テ  
メルカラ、殆ド自由裁量ノ餘地ガナイト云  
ハ精細ニ法律デ以テ決メル、法令デ以テ決  
ト仰シヤラナインデアリマスガ、ソコニ何  
カアルノデゴザマセウカ、是ハ念ノ爲ニハッ  
キリ致シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(挿間茂君) 大體ト申上ゲマシ  
テノハ、實ハ此ノ分與稅、配付稅ハ全部法  
律勅令ノ規定デ機械的ニ動クヤウニ處理致  
シマシテ、ソコニ官廳ノ自由裁量、地方ノ  
陳情等ガ或勤キヲ爲サナイヤウニスルト云  
タノハ、是ハ或ハ見方ヲ變ヘマシテ相當長  
期カアルノデゴザマセウカ、是ハ念ノ爲ニハッ  
キリ致シテ置キタイト思ヒマス

○中川望君 尚細カナコトデアリマスガ、  
地方稅法案第五十四條ノ、漁業權稅ニ關ス  
ルコトデゴザイマス、是ハ「漁場所在ノ府縣  
ニ於テ其ノ漁業權者又ハ漁業權取得者ニ之  
ヲ課ス」ト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ  
實際問題ト致シマシテ、此ノ府縣内ニアル  
町村ノ漁業者ガ、府縣ニ於テハ漁業稅ヲ取  
リ立テル便宜モアリマセウシ、取締ル便宜  
モアリマセウガ、小サナ漁業權者ノ合同ト  
云フコトヲは常ニ獎勵シテ居ル、サウシ  
テ漁業稅ヲ取ラレル際ニハ、其ノ漁場所在  
ノ府縣ニ於テ之ヲ課スル、斯ウ云フコトニ  
ナツテ居リマス爲ニ、是迄各町村ニ於テ附加



ハ此ノ第三種配付額ヲ事情上餘計ヤラナケレバイケナイト云フ場合ガ出テ來ストモ限ラスト思フノデスガ、サウシマスルト此ノ二十八條ノ配分方法ノ百分ノ五ト云フコトヲ御決メニナリマシタノハ、如何ナル特別ノ事情ガアルト云フコトヲ考ヘテモ百分ノ五ノ中デ大體賄ヒ得ルト云フ御考デ御決メニナツタモノデセウカドウデセウカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ百分ノ五ト致シマシタノハ別段絶對的ノ理由ガアル譯デハアリマセヌガ、此ノ程度デ賄ヒ付ケタノト思フノデアリマシテ、從ヒマシテ年ニ依リマスト是デハ不十分デアルト云フ年ガ起ルガモ知レマセヌケレドモ、大體此ノ程度デ最後ノ各團體ノ財源ニ付テ考慮ヲ要スルモノヲ處理シテ行ク考デ居リマシテ、此ノ額ガ殘ルト云フヤウナコトハナイト、致シタイ積リデアリマス

○男爵松平外與麿君 今ノ此ノ二十八條ノ規定デアリマスガ、成ル程主要ナ規定デアリマスカラ、法律ノ文面ニ載セルノハ無論穩當デアラウト思ヒマスガ、今申シタ點ヨリ、實際新シイ制度デアリマスシ、其ノ行ハレル場合ニ於テ多少ノ此ノ配付額ノ總額ノ按分ト云フモノガ御困難ナ場合ガ出得ル可能性ガアリハシナイカト云フ感ジガスルノデスガ、是ハ勅令其ノ他ニ委任スルト云ウカ、若シカ之ヲ勅令ニ委任スルト云フナラバ、非常ニ當局トシテモ色々ナ處置ヲナルノニハ御便利デハナイカト云フコトモ考ヘルノデアリマスガ、法理上カラシテ斯ウ云フ事項ハ勅令ニ委任出來ナイモノデゴザイマセウカ、ドウ云フコトデゴザイマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 只今ノ御讀ミニナリマシタノハ此ノ配付ノ標準方法等デゴザイマセウカ

○男爵松平外與麿君 イヤ、二十八條ノ、「百分ノ四十七・五、百分ノ四十七・五及百分ノ五」ト云フ所デス

○政府委員(挾間茂君) 分リマシタ、ソレハ便利デハアルトハ考ヘマスガ、又ソレニ一面弊害モ起ルト思ヒマスノデ、法律デハッキリ致シタ方ガ適當デアルト思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ此ノ制度ノ變り目ノ色々ナ過渡的ノ地方財政ノ狀況ノ御心配ニ付キマシテハ經過規定デ此ノ率ハ變へマシテ、更ニ第四種配付額ト云フノヲ作りマシテ、ソレデ經過的ノ措置ハ講ズルコトニ致シマス

○子爵裏松友光君 配付稅ノ程度トシテ、所得稅、法人稅、入場稅、遊興飲食稅、之ヲ設ケラレタ理由ニ付テハ既ニ御説明ヲ伺ツテ承知致シテ居リマスガ、衆議院デモ質問ガアリマシタ通リニ、入場稅ト遊興飲食稅ニ付キマシテハ經濟界ノ狀況ニ於テ其ノ稅收入ニ變動ヲ及スヤウナモノデゴザイマスノデ、安定性ヲ失ッテ居ルヤウナモノデゴザイマスカラ、之ヲ地方ノ稅源トシテハ只今申シマシタヤウナ特殊ノ理由ニ基キマシテ之ヲ加ヘルコトニ致シタノデアリマス

○白根竹介君 此ノ市町村民稅ニ對シテハ救濟ノ途ハナイノデゴザイマスカ、ト云フノドンナモノデアラウカト云フ風ニ思フノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付テハドウデスカラゴトガ法令上出來ナイモノデゴザイマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 只今申シマシタヤウナ特殊ノ理由ニ基キマシテ此ノ遊興飲食稅、入場稅等ハ景氣ノ變動ニ依テ相當動ク稅種デアル譯デアリマス、從ツテ若シ出來得ルナラバ斯様ナ稅種以外ノモノヲ選ブト云フ方法モ考ヘ得ルカトスデスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ一般ノ市町村稅ト同様デゴザイマシテ、地方稅法ニ於テノヲ配付稅ト致シテ居リマスカラ、一面國庫内ニ事務所、營業所又ハ家屋敷ヲ有スル個人ニ是ハ有スルト云フ意味デスガ、是ハテモ配付稅ノ中ノ大體八割ハ所得稅、法人稅ヲ以テ充當シテ居リマシテ、其ノ其他ノ二ノ割程度ニナツテ居リマスノデ、此ノ四稅ヲ選擇シタノデアリマス、ソレカラ此ノ制度ノ變り目ノ色々ナ過渡的ノ地方財政ノ狀況ノ御心配ニ付キマシテハ經過規定デ此ノ率ハ變へマシテ、更ニ第四種配付額ト云フノヲ作りマシテ、ソレデ經過的ノ措置ハ講ズルコトニ致シマス

○子爵裏松友光君 此ノ入場稅ト遊興飲食稅ニ代ルベキ何カ安定シタル稅ヲ此處ニ持ツテ來ルコトガ出來ナイモノデセウカ、又ニシテ置クト云フコトハ出來ナカツタモノデセウカ、其ノ配付稅ノ稅種ヲ……其ノ點ニ付テ伺ヒマス

○政府委員(挾間茂君) 配付稅ノ選擇ニ付キマシテハ色々ナ立テ方ガアルト思フノデ同ツテ承知致シテ居リマスガ、衆議院デモ質問ガアリマシタ通リニ、入場稅ト遊興飲食稅ニ付キマシテハ經濟界ノ狀況ニ於テ其ノ稅收入ニ變動ヲ及スヤウナモノデゴザイマスノデ、安定性ヲ失ッテ居ルヤウナモノデゴザイマスカラ、之ヲ地方ノ稅源トシテハ只今申シマシタヤウナ特殊ノ理由ニ基キマシテ之ヲ加ヘルコトニ致シタノデアリマス

○白根竹介君 此ノ市町村民稅ニ對シテハ救濟ノ途ハナイノデゴザイマスカ、ト云フノドンナモノデアラウカト云フ風ニ思フノデゴザイマスガ、其ノ點ニ付テハドウデスカラゴトガ法令上出來ナイモノデゴザイマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 御尤モデゴザイマセウカ、若シカ之ヲ勅令ニ委任スルト云フナラバ、非常ニ當局トシテモ色々ナ處置ヲナルノニハ御便利デハナイカト云フコトモ考ヘルノデアリマスガ、法理上カラシテ斯ウ云フ事項ハ勅令ニ委任出來ナイモノデゴザイマセウカ、ドウ云フコトデゴザイマセウカ

○政府委員(挾間茂君) 本人ガ家ヲ所有致存ズルノデアリマス、併シ一面ニ於キマシテ所徴稅、法人稅ノ如ク非常ニ伸張力ノ強イモス、從ツテ若シ出來得ルナラバ斯様ナ稅種以外ノモノヲ選ブト云フ方法モ考ヘ得ルカトスデスカ

○政府委員(挾間茂君) 是ハ一般ノ市町村民稅ニ付キマシテハアリマシタケレドモ、或ハ住居ヲ有スルト認メラバ斯様ナ稅種以外ノモノヲ選ブト云フ場合ニ於テハ、ヨク戸ガ課稅サレタト云フ場合ニ於テハ、ヨク戸シテ居リマシテ、ソレヲ人ニ借シテ居ル場合ニハ是ハ此ノ條項ニハ入りマセス、併シナガラ人ノマア住宅ヲ借リテ自分ガ別荘ドシテ使用シテ居ルト云フヤウナ場合ハ、之ヲ家屋敷ヲ有スル個人ト云フ此ノ觀念ノ中ニ入レルヤウニ解釋シテ居リマス、入ルヤウニ解釋シテ居リマス、其ノ外家族ノ一人ガ療養ニ使ウ場合、其ノ場合モ入ルト云フ風ニ御考ヘ戴キマス

○政府委員(挾間茂君) 本人ガ家ヲ所有致シテ居リマシテ、ソレヲ人ニ借シテ居ル場合ニハ是ハ此ノ條項ニハ入りマセス、併シナガラ人ノマア住宅ヲ借リテ自分ガ別荘ドシテ使用シテ居ルト云フヤウナ場合ハ、之ヲ家屋敷ヲ有スル個人ト云フ此ノ觀念ノ中ニ入レルヤウニ解釋シテ居リマス、入ルヤウニ解释シテ居リマス、其ノ外家族ノ一人ガ療養ニ使ウ場合、其ノ場合モ入ルト云フ風ニ御考ヘ戴キマス

○松村義一君 サウスルトデスネ、是ハ

一人ノ人ガ澤山ノ家ヲ借りテ居ルトカ、或ハ持ツテ居ツテ別荘ニシテ居ルト云フ場合ニ人、一人ノ人ガ極端ニ言ヘバ百ノ町村ニ佳民稅ヲ納メルト云フコトモアリ得ル譯デスナ、解釋上……

○政府委員(浜間茂君) 是ハ同一市町村内  
デアリマス場合トニ依ツテ相違スル譯デアリマス  
居ル場合トニ依ツテ相違スル譯デアリマス  
ガ、同一市町村内デハ第一號デ全部包含シ  
マスノデ、一箇所ニ於テノミ課稅ヲ致シマ  
ス、併シ市町村ガ異リマス場合ニハ、仰セノ  
如ク各市町村別ニ納稅義務者トナル條件ガ  
ゴザイマスレバ課稅ヲ受ケル譯デアリマス、唯  
此ノ場合附加ヘテ申上ゲテ置キタイト存ジ  
マスノハ、此ノ數市町村ニ於テ同一人ガ色  
色ナ事情ノ下ニ市町村民稅ノ課稅ヲ受ケル  
場合ニハ、是ハ其ノ課稅ヲ十分考慮シテ致  
サナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、  
其ノ點ニ付キマシテハ、例ヘバ其ノ家屋敷  
ヲ持シテ居ルト云フ場合ニハ、其ノ家屋ノ賃  
貸價格ダケヲ課稅ノ標準トシテ掛けマシテ、  
本人ノ資力、所得ト云フヤウナモノヲ考慮  
致シテ居リマス所ハ、ソコノ事業所得ダケ  
ノ中ニ入レナイデ掛けルト云フ方法ヲ致シ  
マストカ、或ハ其ノ人ノ生活根據デ事業ヲ  
致シテ居リマス所ハ、ソコノ事業所得ダケ  
ニ付テ課稅ヲ致シマストカ、又此ノ數市町  
村デ課稅ヲ致シマス場合ニハ、其ノ市町村  
ノ相互ノ間ニ於テ協議ヲ致シマシテ、適當  
ニ額ニ決定ヲ致サスヤウニ致シマストカ、  
是ハ初メテノ制度デゴザイマズノデ、相當  
御述ニナリマシダヤウナ事態ガ發生スルト  
思ヒマスノデ、通牒ヲ以チマンシテ一應ノ準  
則等ヲ指示致シダイト考ヘテ居リマス、  
○松村義一君 是ハ澤山ノ別荘デモ持ッテ  
居ルト云フ人ナラバ、マダ稅ヲ掛けラレテ

モ宜イカモ知レナイガ、ソレダッテヒドイ場合ガアルト思ヒマスガ、殊ニ家ヲ借りテ居ルト云フ場合ニ澤山ノ町村デ掛ケラレルト云フノハ、少シ負擔ガ重キニ至リハセヌカト云フコトヲ考ヘルノデスガ、今ノ御話ニ依ルト、通牒デ然ルベク是正ヲスルト云フ御話デアリマスガ、サウスルト、何デセウカ、是正ヲサル、ト云フ意味ハ、凡ソ標準ヲ設ケテ、マア最高限ガ、此ノ原案ニ依レバ千圓、修正案ニ依レバ大都市デ二千圓トアルノデスガ、其ノ最高限ノ範圍トカ、或ハ最高限ヲ何割増シタ範圍トカ云フヤウナコトニ十分ノ標準ヲ御決メニナルコトハ出来ルデセウカ

ヤウナコトノナイヤウニ一ツ御考ヲ願ヒタ  
族ノ一人ガ行ツテ居ルトカ、何トカ云フヤウ  
ナ場合等ニ依ツテ二重ニ多ク課セラレル、是  
ハ確カニ不合理ダト思フノデスガ、十分ノ  
御研究ヲ願ヒマシテ、負擔ノ重キニ失セヌ  
ヤウナ工合ニ御取計ラヒヲ願ヒタイ  
○政府委員(挾間茂君) 此ノ點、初メテノ  
制度デモザイマスシ、十分研究ヲ致シマ  
シテ、個人ノ負擔ガ過重ニナルト云フヤウ  
ナコトノ起ラナイヤウニ十分注意致シタイ  
ト思ヒマス

ニ依ルコトモゴザイマスガ、若シ此ノ賦課額ガ客觀的ニ見マシテ資産ニ應ジナイトカ、或ハ所得額ニ應ジテ居ナイト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ或違法ガアルモノトシテ救濟ノ對象ニナル譯デアリマシテ、此ノ點現在ノ戸數割ニ付テ救濟ノ途ガゴザイマスノト同様ニ、今度ノ市町村民稅ニ付テモ其ノ救濟ノ對象ニナッテ審査ヲ致スコトガ出来ルト思ツテ居リマス

○柴田兵一郎君 地方稅法第九條ノ漁場ト云フノハ漁業法施行規則ニアル漁場ト同様ニ解釋スベキモノデアリマスカ

○政府委員(三好重夫君) 先程中川サンノ御尋ネガゴザイマシタノデ御答ヲ申上ゲタノデゴザイマスガ、保護區域フモ含ム、斯ウ云フ風ニ解釋シタイト思ツテ居リマス

○柴田兵一郎君 了承致シマシタ

○子爵園部長景君 小サイ問題デスガ、市町村民稅ト云フモノハ實際適用サレル場合ニハ、ドウ云フ名稱デ用ヒラレルノデスカ

○政府委員(挾間茂君) 市デハ市民稅、町デハ町民稅、村デハ村民稅ト云フコトデヤリマス

○子爵園部長景君 サウデスカ

○子爵園部長景君 地方稅ノ中ノ道府縣稅ガ全體デ四億九千三百萬圓、其ノ中分與稅ガ三億一千八百萬圓、然ラザルモノガ一億六千五百萬圓、其ノ割合ガ六十六「パーセント」ト二十四「パーセント」ニナッテ居ルト云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ分與稅ヲ六十六「パーセント」ニシテ、然ラザルモノ三十四「パーセント」ニシタト云フ根據ハドウ云フ所ニアルノデアリマスカ、理由、根據ヲ伺ヒタトイド思ヒマス

之デ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、改正前後ニ於ケル地方財源異動見込額調、昭和十五年度ニ於キマシテ自然增收分モ含ミマシタ總額ガ十億三千二百萬圓デアルト思ヒマス、ソレヲ抑ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ十億三千二百萬圓ノ中、今回ノ改正ニ依リマシテ徵稅上ノ不用額ガ一千六百萬圓程アリマス、ソレカラ國費地方費ノ負擔區分ニ依リマシテ、地方ノ負擔ガ國ニ移リマスモノガ二千七百萬圓程アリマシテ、ソレヲ控除致シマスト、詰リ稅總額トシテ九億八千九百萬圓ノ收入ヲ平年度ニ於テ見マスレバ、地方財政經理ニ支障ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ之ヲ奮法ニ依リマス地方稅ノ見込收入總額ヲ道府縣ト市町村ニ分ケマスト、道府縣ニ於テ五億一千四百萬圓、市町村ニ於キマシテ四億七千五百萬圓ト云フコトニナルノデアリマス、之ヲ合セマシテ如何ナル程度ニ於テ此ノ配付財源、調整財源ヲ見込ムガ宜イカ、是ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、大體三割三分程度ニ於テ地方財政ノ調整ヲ致シマシテ、六割七分ハ獨立ノ財源トシテ地方自治ノ財政上ノ力ヲ十分認メテ行キタイト云フノデ振分ケタノデアリマス、ソコデサウ云フ風ニシマシテ、附加稅ト獨立稅トヲ今度ノ稅制ニ依ヅテ見マスト、道府縣ハ一億六千五百萬圓ト、ソレカラ還付稅ガ一億二千五百萬圓アルノデアリマス、ソレカラ市町村ノ方ハ、附加稅ト獨立稅トデ三億七千二百萬圓アル譯デアリマス、之ヲ五億一千四百萬圓ト、四億七千五百萬圓カラ控除致シマスト、六十二ト三十八ヨリモ今少シク多ク道

府縣ノ方ニ參ルコトニナルノデアリマスガ、  
府存ジノ通リ市町村ハ團體ノ財政狀況モ非  
常ニ違ヒマスノデ、或程度ノ餘力ヲ市町村  
ノ方ニ認メルコトガ適當デアル思ヒマシ  
テ、大體二千萬圓内外ヲ道府縣カラ市町村  
ノ方ニ委讓致シマシテ、配付稅ヲ配付スル  
コドニ致シタノデアリマス、サウシマシタ  
結果、道府縣ノ配付稅總額ガ二億三百萬圓  
デアリ、市町村ノ配付稅總額ガ一億二千四  
百萬圓ト云フコトニナリマシテ、之ヲ通計致  
シマスト、道府縣ガ四億九千三百萬圓、市  
町村ガ四億九千六百萬圓ノ財源ヲ得ルト云  
フコトニナルノデアリマス、此ノ三億三百  
萬圓ト一億二千四百萬圓トヲ比率ニ致シマ  
スト、六十二ト三十八ト云フ 結果ニナッタ  
ノデアリマス

五百萬圓ニナツタ譯アリマス、之ニ一  
億六千五百萬圓ヲ與ヘテ、配付稅ニ二億三  
百萬圓ヲ與ヘルト云フ數字カラ來タノデハ  
ナイノデアリマシテ、全體ノ獨立財源ト、  
ウ云フ稅制ヲ立テマシタ結果斯ウ云フ風ニ  
ナツタノデアリマス

○子爵岡部長景君 今直グ御卽答ヲ願フ譯  
デハアリマセヌガ、御調ガ出來レバ極ク  
概數デ宜イノデスガ今度ノ稅制改正ニ依ッ  
テ國稅ト地方稅全體ヲ通ジテ、國民ノ本當  
ノ負擔ガドノ位ノ割合ニナルカト云フ大雜  
把ノ所デ宜イノデスガ、之ニ依ッテ我々モ覺  
悟ヲ必要トルノデスガ、是ハ國民全體サ  
ウダラウト思ヒマス、ソレハ自ラ收入ノ額  
ニ依ッテモ率モ違ヒマセウシ……、是ハ一  
ツ表ニデモシテ戴キタイト思フノデスガ……  
○政府委員 挿間茂君 午前中御要求ガゴ  
ザイマシテ、今大藏省ト折衝シマシテ、一  
定額ノ國民所得ニ對シテドウ云フ風ニ負擔  
ガナルカト云フ計數ヲ作ッテ居リマスノデ、  
少シ時間ガ掛ルヤウデアリマスガ、成ルベ  
ク速ク御覽戴クヤウニ致シマス

○子爵岡部長景君 自ラ額ニ依ッテ累進率  
モ變リマセウカラ、一定額ト云シテモ相當  
色々ノ額ヲ出シテ戴キタイ、代表的ノ數字  
デ結構デスカラ……

○委員長(子爵前田利定君) 明後日御間合  
ヒニナリマスカ

○政府委員(挿間茂君) 承知シマシタ  
○子爵岡部長景君 是ハ國民全體ガソレダ  
ケノ覺悟ヲ以テ此ノ稅制ヲ受容レナケレバ  
ナラスト思ヒマスカラ……

○政府委員(挾間茂君) 第四條ノ意味デア  
ルト存ジマスガ、此ノ分與稅ヲ特別會計ト  
致シマシタノハ、年度間ノ調整ヲスル必要  
ガゴザイマスノデ、之ヲ一般會計カラ切離  
シテ特別會計ニ繰入レルコトニ致シテ居ル  
ノデ、第四條ハ分與稅ノ歲入ガ其ノ年度ニ  
於ケル歲出ヲ「カバー」スルコトガ出來マセヌ  
場合ニ、借入レヲ爲スコトガ出來ル規定デア  
リマシテ、其ノ第二項ハ其ノ借入額ニ對スル制  
限ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ此ノ借入  
金ヲ無制限ニ致シマスコトハ、此ノ會計ノ  
性質カラ見テ危險デアリマスノデ、ソレニ  
對シテ制限ヲ致シマシテ、此ノ第六條第一  
項デ毎年分與スペキ金額ガ定リマスガ、其  
ノ額ニ達スル迄ノ借入レ、若シ足リナイ場  
合ニ於テハ……借入レヲセシメル、ソレカ  
ラ若シ此ノ額ガ前年度ノ配付額ノ百分ノ九  
十ヨリ更ニ少い場合ニ於キマシテハ百分ノ  
九十二達スル迄シカ借入金ヲ致サセナイ、  
斯ウ云フ制限ヲ設ケマシテ、其ノ制限ニ於  
テ此ノ特別會計ガ借入金ヲスルコトヲ認メ  
タノデアリマス

支障ヲ來シマスカラ、前年度ヲ標準ト致シマシテ一割ヲ前後セシメヨウト云フコトニシタノデアリマス、其ノ關係デ此ノ借入金ニ付キマシテモ、一割ヨリモ更ニ少イヤウナ歲入デアリマス場合ニハ、借入金ヲ以て一割程度迄ハ追付クヤウニ致サセタイ、斯ウ云フコトデアリマス

○政府委員(三好重夫君) 特別會計法ノ第四條ノ第二項ノ規定デゴザイマスガ、少しが詳シ御話シ申上げタイト存ジマス、地方分與稅法ノ第六條第一項ノ規定ニ依リマシテ、毎年度分與シマス額ハ前年度ノ收入額ニ相成ル譯デアリマス、處ガ減收ノ段々生ジテ來マス年度ノコトヲ考ヘマスト、例ヘバ第六條ノ第一項ノ規定ニ依ッテ分與致シマス額ハ四億圓デアリマス、併シナガラ今年ノ特別會計ノ豫算ノ歲入ニ入ッテ來ル額ハ三億五千萬圓デアルト云フ事態ガ起ルコトガアル譯デアリマス、其ノ時ニ其ノ差額ノ五千萬圓ヲドウシテ經理スルカト云フ問題ガゴザイマス、ソレハ原則トシテ借入金ニ依ルノデアル、併シナガラ其ノ借入金ニ付キマシテハ、積立金ガゴザイマスナラバ先づ積立金ヲ充當致シマシテ、其ノ差額ダケヲ借入レル、併シ一方又逆ニ從前借入レテ居リマシタ金ヲ償還シナケレバナラヌ場合合ニ、償還金ガ假ニ二千萬圓其ノ年度ニ要ルト致シマスレバ、七千萬ノ借入金ヲ見込ミマセスト豫定ノ償還ガ出來ズ、規定ニ依ル分與ガ出來ナイコトニナリマスカラ、七千萬圓ヲ借入レテ宜シイ、斯ウ云ファウナ規定ニ相成ルノデアリマス、括弧ニ入ッテ居リマス「配付稅ノ分與額百分ノ九十ガ之ヨ

リ大ナルトキハ其ノ額」ト申シマスルノハ、

云フ……

只今ノヤウニ減收ノ起シテ居リマス場合ヲ考ヘマスト、第六條第三項ノ規定ニ依リマシテ百分ノ九十九ト云フ額ガ六條第一項ニ規定ニ付テモ同ジヤウナヤリ方デ借入金ヲ認メナケレバナラヌ、ソレヲ認メル、斯ウ云フ風ニ致シテ居ルノデゴザイマス

○塩田團平君 今ノ御説明ニ付テチヨット御伺ヒシタノデスガ、前年度ト云フ額ハ前々年度ノ現實ニ徵收サレタ額デ決シテ居ルノデアリマスガ、其ノ豫算ハ當該年度ノ收入ノ豫算上ニナルノデスカ、收入豫算ノ方ハソレデ現實ニ得タモノト、想定財源トノ睨ミ合セカラ來ル差額デアレバ、現實ニ持ツテ居ル借入金ノ財源ハ生レテ來ナイヤウナ氣ガシマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(三好重夫君) 其ノ點ニ付キマシテハ實際ノ金ハ如何ナル金ガ使ハレルカト云フ問題ト關聯ガアルノデゴザイマシテ、毎年度配付致シマス額其ノモノハ前々年度ノ微收額デゴザイマスケレドモ、現實ニ配ノ額トシテ分配サレルコトニナルノデアリマス

○塩田團平君 サウシマスト其ノ差額ノ分配ハ舊稅制ニ依ル分配高デ、此ノ改正稅法ニ依ル分配高ニハ分レテ居ラヌノデスネ

○政府委員(挾間茂君) 舊稅制ニ依ルモノハ其ノ儘各市町村府縣ノ歲入ニ入りマスカラ、其ノ額ヲ除キマシタモノガ此ノ配付稅ノ趣旨ニ依ッテ分配サレル額ニハナリマセマス

○塩田團平君 サウシマスト矢張リ此ノ法ノ趣旨ニ依ッテ分配サレル額ニハナリマセマス

○塩田團平君 此ノ過渡規定ノ中ニ、分與ノ趣旨ニ依ッテ分配サレル額ニハナリマセマス

○政府委員(挾間茂君) 過年度收入ハ其ノ額トシテ分配サレルコトニナルノデアリマス

○塩田團平君 分リマシタ、ソレカラ之ニレドモ、十五、十六年度ニ於テ此ノ分與稅ノ財源ニセラレル額ヲ何處カニ規定ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ額ガ先頃御話シニナッタ額ヨリモ少く出テ居リマス、其ノ理由ハ如何デスカ、一億七千何百萬圓カト

云フ……

マシテハ三億二千七百萬圓ニナル譯デアリ

マスガ、是ハ今回ノ中央地方ヲ通ズル稅制

ニ於キマシテハマダ舊稅法ニ依リマス過年

度ノ收入ガゴザイマシテ、ソレガ地方團體

ノ財源ニ入ッテ來マスカラ、ソレヲ見込ミマ

スト、配付稅ノ財源トシマシテハ三億二千

キマシテハ二億七千六百六十七萬圓ト云フ

コトニナルノデアリマス、是ハ過年度收入

ノ入ル額ニ依リマシテ斯ウ云フ數字ニ兩年

度變ツテ居ルノデアリマス

○政府委員(三好重夫君) 只今ノ御尋デゴ

ザイマスガ、五十三條ノ方ハ、趣旨ガ、此

ナツテ居リマス理由ハドウデスカ



ハ宜シイ、其ノ物納シタモノヲ市町村ノ費用ニ當テル、米券デモ發行シテ教員ノ俸給ヲ拂フト云フヤウナコトニスルノガ宜イノデハナイカト思ヒマス、所謂農作飢饉ナント云フ聲ヲ聞クト云フコトモ今日ハアリマセヌケレドモ、サウ云フコトノアッタコトモアルシ、今日ノヤウナコトモアルシ、要スルニ米デ納メルコトガ出來レバ、非常ニ農村ノ事情ト云フモノガ緩和サレルノダト私共ハ思フノデスガ、之ニ付テハ今此ノ法律ニハナイヤウデスケレドモ、當局アタリデ何カ御研究ニナシテ居ルノデセウカ  
○政府委員(秋間茂君) 是ハ地方ノ農村等ニ於キマシテハ一應サウ云フコトモ考ヘラレルノデアリマシテ、色々此ノ法律ヲ立案スル以前カラ研究モ致シテ見タノデアリマスガ、實際ノ扱トシテ、町村ガソレヲ受ケマシテ、其ノ處置等ニ於テ非常ニ手數ガ掛リマスノデ、ドウモ物納方地方稅ノ上ニ現レテ來マシテ、非常ニ困難ナ狀態ニナルト云フ風ナシテ、虞ガアリマスルノデ、是ハ隨分從來長ク研究ヲシタコトデアリマスガ、矢張リ稅制ノ建前トシマシテハ、金錢ニ依テ納付サセガト云フコトニセザルヲ得ナイヤウニ考ヘテ居リマス、色々研究致シマシタ結果、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス

テ見ルト、實情カラ云ッテ、サウ云フ風ナコ  
トヲ考ヘモ宜イ場所ガ確ニアルノデハナカ  
ラウカ、是ハ米ヲ作ッテモ、ソレヲ賣リニ出  
セバ、比較的山村アタリデハ安ク賣ラナケ  
レバナラヌ、サウシテ買フ物ハ非常ニ高ク  
買ハチケレバ、ナラヌト云フヤウナコトニ  
ナツテ、金錢經濟ノ爲ニ誠ニ因ルノデアリ  
マスガ、是ハ租稅ノ點ニ於テ一番抜差  
シナラ、又苦ミヲ受ケナケレバナラヌ、  
殊ニ現ニ小作料ノ如キハ米、デ實際納メテモ  
居ルシ、ソレデ取引ガ出來テ居ルノデアリ  
マスカラ、租稅ハ出來ナイト云フコトハ、  
是ハ面倒デアルト云フコトハ云ヘマセウケ  
レドモ、唯サウ云フコトノ方ヘ途ダケハ開  
イテ置イタ方ガ宜イデヤナイカ、サウスレ  
バサウ云フコトヲヤル所モ出來テ來、又ヤ  
ル方ガ日本ノ實情カラ見テ宜ノデヤナカ  
ラウカ、米穀ト云フモノダケハ此ノ國ニ無  
イ物品デスカラ、生産方面ニ於テモ特殊デ  
アルシ、消費ノ方面ニ於テモ特殊デスカラ、  
之ヲ一ツ税ノ物納ヲ許スト云フコトニ依ツ  
テ、其ノ點ヲ日本ノ國情ニ或程度迄即應サ  
シタラ宜クハナイカト豫テ考ヘ居リマス  
ガ、是ハ更ニ一ツ御研究ヲ願シテ、一律ニ實  
行スルト云フコトハ却テ無理ガ出來テドウ  
カト思ヒマスガ、併シ出來ルダケ小サイ範  
圍ニ於テ之ヲ許ス、現ニ或私立ノ學校デス  
ガ、授業料ヲ米デ納ヌルト云フ所ガアルノ  
デスガ、ソコ等デハ、矢張リ農村ノ學校デ  
ニ角授業料ニ米ヲ持ッテ來テ、金デ持ッテ來  
ナシ、サウ云フ所ハ一種ノ氣分ガ現レテ大  
モ僅カナ食費ミタヤウナモノデセウガ、兎  
ニ角授業料ニ米ヲ持ッテ來テ、金デ持ッテ來  
ナデアリマスガ、是ハ能ク一ツ御考ヲ願ヒ

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 此ノ物納ノ問題ニ付キマシテハ、多年研究サレテ居ルナシテ居リマスノハ、相續稅ニ對スル物納ノ問題ガアルノデアリマス、是ハ衆議院ノ方デ其ノ議論ガ出マシテ、相續稅ヲ納メル時ニ、不動產ヲ澤山持ツテ居ル人ガ、ソレヲ錢ニ替ヘテ納メルト云フコトハ非常ニ苦痛ヲ感ズルカラ、ソコデ物納ノ途ヲ開クコトガ相續稅ニ對シテハ殊ニ必要デアラウト云フ御質問ガ出マシテ、之ニ對シテ此ノ問題ハ餘程重要な問題デアルカラ、政府デモ調査委員會ヲ挙ヘテ、ヤレルモノカ、ヤレナイモノカ、ヤレルナラドウ云フ方法デヤッタラ宜イカト云フコトノ調査ヲシヨウト云フコトニナシテ居ルノデアリマス、處が米ニ對スル觀念ハ、從來ヨリモ昨今ニ於テハ大イニ違ツテ居ル點ガアルト思フノデアリマス、又米ノ取扱ニ對スル現實ノ問題ト致シマシテモ、從來ノ考ト變ヘテ考ヘナケレバナラ又點ガ私ハアルト斯ウ想像シテ居ルノデアリマス、若シモ物納ノ問題ヲ廣ク解釋致シマシテ、相續稅ニ對スル問題デナシニ、此ノ問題モ合セテ考ヘラレルヤウナコトニ致シマスレバ、自ラソコニ御希望ニ副フコトガ出來ルノデヤナイカト斯ウ思ツテ居リマス、此ノ點ニ對シテハ特ニ考慮スルコトニ致シマス

情ニ即スルヤナニヤッテ戴キタイ、是ハ唯納  
メルノニ便利トカ不便利ト云フ問題バカリ  
デナク、又ソレヲ支拂フ歳出ノ方ノ問題ニ  
モソレガウマク利用サレ、ベ、殊ニサウ云  
フモノヲ産出スル地方ニ於テハ非常ニ利益  
ダラウト思フノデアリマス、又貰フ方カラ  
見テモ、之ヲ町村ノ吏員ト云フヤウナ或ハ  
教員ト云フヤウナ方面カラ見レバ、却テ其  
ノ方ガ中間ノ色々ノ業者ノ手ヲ經ナイデ、  
直接米穀ヲ受ケルカラ大變ニ都合ガ好イコ  
トニナルダラウト想像シテ居リマス、能ク  
一ツ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス。  
○公爵一條實孝君 私ハ他所ノ委員會ニ出  
テ居シテ、此ノ委員會ニハ昨日今日ハ出マセ  
ヌカラ、非常ニ詰ヌコトヲ、又二重ニナッ  
テ伺フコトガアリマシタラ一ツ御注意ヲ願  
ヒタイト思ヒマス、私ハ此ノ衆議院ノ修正  
ノ根據ヲ一ツ、御説明ヲモウ願シテ居ルカ  
モ知レマセヌガ、其ノ中テモ、地方稅法案  
ノ中ノ第六十六條ノ政府原案デハ千圓トア  
ルノヲ、二千圓、千五百圓、千圓トスウサ  
レタ根據ハ何處ニアルノデスカ、政府委員  
デモ……

○國務大臣(伯爵兒玉秀雄君) 其ノ點ハ最  
初ニ私ガ御説明申上ゲタ點デアルノデアリ  
マス、政府ト致シマシテハ、此ノ市町村民  
稅ノ性質カラ考ヘマシテ、最高限度ガ千圓  
ト云フコトガ適當ナリト今デモ考ヘテ居ル  
ノデアリマス、衆議院ニ於ケル理由ハ、成  
ル程市町村民稅ノ性質カラ云シテ最高限度  
ヲ定メテ置クト云フ事柄ハ非常ニ宜シイ、  
宜シイガ實際ノ事情カラ見ルト、東京ノヤ  
ウナ大都市ト、普通ノ都市ト町村トハ自ラ  
富ノ程度モ違フシ、從テ負擔力モ違シテ來  
ル、ソレヲ一樣ニ千圓トスル必要ハナイデ

ハナイカ、寧ロソコニ差等ヲ付ケタ方ガ實際ニ合スルノデハナイカ、ソレニ付テハ今モ申シタ二千圓、或ハ千五百圓、千圓ト云フコトニシタ方ガ實際ノ事情ニ適スルノデ從來非常ニ不均衡ノ結果ヲ來シタノデアリマスルケレドモ、最高限度ヲ二千圓ト決メテ置ケバ、其ノ弊害モ認メラレナイノヂヤナイカ、斯ウ云フ説明デアリマシテ、一應ノ理窟ハアルノデス、ソコデ我々ノ方トシテハ、原案ヲ無論支持致シマスルガ、此ノ衆議院ノ修正ニモ之ヲ必ズシモ拒否スルダケノ理由モナイヤウデアル、此ノ位ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(子爵前田利定君) 皆様ニ御諮り致シマスガ、マダ時間ハ少シ餘裕ハアリマスガ、大分今朝カラ質疑百出シマシテ御疲レノヤウニ見受ケマスカラ、今日ハ此ノ程度デ閉マシテ、明日ハ御異議ガナケレバ休ムコトニシ、明後日午前十時カラ續行スルコトニ致シタイト云フコトデ御異議コザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵前田利定君) 御異議ガナケレバ左様ニ致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時三十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長	子爵前田
副委員長	男爵紀
委員	
公爵一條	實孝君
侯爵池田	宣政君
伯爵黒木	三次君
伯爵橋本	實斐君

印刷者 内閣印刷局